



公益財団法人大阪YWCA

2017年度（平成29年度）

（2017年4月1日～2018年3月31日）

事 業 報 告

はじめに

いつも大阪YWCAを様々な形でお支えいただき、誠にありがとうございます。2017年度の事業報告を皆様のもとに深い感謝と共にお届けいたします。

2017年度は100周年を翌年に控え、募金の開始や、コンサート、旅行の実施など、記念プログラムが本格的にスタートいたしました。ガールズ・パワーアップ・プロジェクトは、2018年夏の「若い女性の国際フォーラム」の実施に向けて、中高生から25才までの女性へのプログラムを精力的に行っています。また、100年史も多くの方々からのご協力を得て、苦心をしながら作業をすすめております。

専門学校日本語学科は、今年も多く of 学生を迎えることができました。生活指導や進路指導は、日々新しい課題と向き合い、試行錯誤の連続でした。新入生の入学時期にあわせた生活用品の無料配布、奨学金委員会の委員による野菜たっぷりスープの提供など、会員・ボランティアの皆さんの大きな協力もいただきながら、学生へのサポートの充実も図りました。

講座部では、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、特別支援学校の生徒・保護者への支援事業を昨年度よりボリュームアップして実施いたしました。

中国帰国者支援事業では、日本語の学習、就労支援に加え、多くの自治体、地域のボランティア団体への協力など地域支援プログラムを実施。主催したボランティア研修会、堺市で開催したシンポジウム、医療通訳研修会等はどれも好評を博しました。更に、中国帰国者の高齢化に対応するべく、中国語での「語りかけボランティア」の育成と訪問事業を新たに開始いたしました。多くのボランティアに恵まれ、派遣の依頼に応えると共に、ニーズの掘り起しや理解の促進にも力を入れました。

ボランティア・社会貢献活動運営委員会では、それぞれの委員会の課題の共有や検討を行いつつ、2009年度に策定した「ビジョン2020」の次の段階を描く作業を開始しました。また、日本YWCAの「地域YWCAを主体としたプログラム助成」を受け、3市Y合同合宿と全国ユースギャザリングを実施。他市Yのメンバーと交流を深め、情報交換を行い、多くの刺激を受けました。どちらも2018年度も引き続き実施していくこととなっています。

最後になりましたが、いよいよ迎える100周年、そして更にその先へと歩みを進め、よりよい活動を展開していくために、今後も皆さま方のご支援、ご指導のほどを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人大阪YWCA

常務理事 中山 羊奈

目 的

キリスト教の基盤にたち、女性と青少年の力を集め、リーダーシップを養成し、すべての人にとっての正義・平和・健康・尊厳・自由・持続可能な環境を実現することを目的とする。

基 本 方 針

1. 非核・非暴力による平和の実現のために積極的に行動する
2. 多様性を認め合い、出会いの中で育ち合い、変革を担う人材を育成する

ビジョン 2020

大阪YWCAは、より良い社会の実現のために働く人を育て、女性のあらゆるライフステージの課題に包括的に取り組みます。

この10年は、「子ども・女性・非暴力による平和」をテーマに掲げて活動します。

YWCAが10年後に実現していきたい社会はこんな社会です。

<子ども>

★子どもたちが多様な人と出会い、ありのままを認めあえる場がある社会

★すべての子どもたちの将来へのチャンスが保障され、自律的に生きることのできる社会

<女性>

★すべての女性が、自分自身の生き方を決定し、力を発揮することのできる社会

<非暴力による平和>

★憲法の非武装・平和の精神があらゆる世代に浸透し、生活の中に根付いている社会

2017 年度標語

「互いに励まし合い、思いを一つにし、共に生きる平和な世界を実現しよう」

コリントの信徒への手紙二 13 章 11 節より

I. 教育事業

1. 専門学校事業

全日制総合日本語コース（本科）は、**モーニング会話クラス**や午前中のみ聴講生も含め、春期 6 クラス 83 名、秋期 7 クラス 102 名と今年も盛況であった。今年度から、漢字・非漢字圏に関わらず、初級から中級レベルの学生向けに漢字クラスを週 2~3 回行い、日本語力の底上げに取り組んだ。進路面では、募集要項の取り寄せから出願、入学手続きに至るまでつきっきりでサポートが必要な状況であった。

生活面では、入学時オリエンテーションにおいて、アルバイトでの注意事項や生活をする上で必要な区役所等での手続きを盛り込んで充実させた。その他、在留期間更新のための書類作成指導や来日直後に必要な生活用品の無料配布コーナー設置等にも取り組んだ。

また、2年に一度行なっている“**ホームカミングデー**”を11月に行い、教職員たちと久々の再会を喜んだ。

イブニングコースは春期 4 クラス、秋期 5 クラスを開講した。日本の企業で働いている外国人がほとんどだが、日本人配偶者や日本の中学校に通う学生も受講した。国籍は中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、マレーシア、カンボジア、ネパール、ベナン、オーストラリア、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、チュニジア、ベラルーシ、ロシアと多彩で、年齢も 10 代から 60 代まで幅広い層が在籍した。**能力試験準備コース**は、能力試験の日程に合わせて、4 月~7 月、9 月~12 月の 2 期、N1 クラスと N2 クラスを開講した。**夏期集中コース**は台湾の修平科技大学から昨年からのリピーターの学生を含め 11 名が参加したほか、中国、台湾、ベトナム、オーストラリア、モンゴル、イギリスから計 23 名が集まった。日本語のレッスン以外にもお好み焼きパーティーやクッキー作り、インテリア雑貨作り、オリジナルだるま製作、ちぎり絵のうちわ製作などのオプションプログラムを楽しんだ。

プライベートレッスンでは企業からの依頼が多数あり、出張レッスンも多かった。

教育事業全体として、Wi-fi の設置、ホームページの一部リニューアル、スマートフォンからのホームページ閲覧、ツイッターの開設などの広報活動にも力を入れた。

◇奨学金

今年度も文部科学省外国人留学生学習奨励費、大阪YWCA奨学金、大阪YWCA留学生里親の会奨学金、鈴木保奨学金それぞれの選考及び支給を行った。多くの方々のご協力、ご寄付により、奨学金を支給することができた。これからも、志高い勤勉な学生を一人でも多く経済的に支援していけるよう、努力を続けていきたい。今年度は留学生に温かいランチスープを無料で提供することを始め、4 月から月一回のペースで行った。毎月の**スープの日**を楽しみにしている留学生も増えてきている。

2. 日本語教師を養成する事業

(1) 日本語教師養成講座

2017 年度は、2016 年度に改編した新カリキュラムの 2 年目であったが、文化庁から示された新基準に対応するため微調整しながらの運用となった。そのカリキュラム改編の目的の一つ、「受講生の個別ニーズに対応するための部分的な受講」の選択者が初めて現れ、有資格者であってもブラッシュアップのための受講を必要とする者が存在し、そこへのアピールが有効であることが証明された。420 時間コースの希望者も、部分受講を積み重ねていく形を選択している者が少なからずおり、カリキュラムの改編の意義が証明された。

一方、秋学期の新規入学者は一人だった。広報や宣伝の不足が考えられるため、ホームページやパンフレットのデザインを改訂し見やすくした。また、入学前のガイダンス等のイベントをこれまでと違う企画内容にして話題性を持たせた。

(2) 日本語教師会事業

日本語教師会は、地域の国際交流協会等での日本語ボランティア向け講習会や日本語教室への講師派遣を今年度も活発に行った。(13 件)。大学等では、昨年に引き続きトラベルジャーナル学園の日本語授業に講師を派遣した。

日本語コースでは、「**ビジネス日本語クラス**」でレギュラーコースに加えて特別コースも実施し、昨年同様、クラス担当講師の育成研修「**ビジネス日本語クラスのための特別研修プログラム**」を行った。

教材開発では、J リサーチ出版から**日本語能力試験 N2 問題集**を 4 冊出版した。

また、各日本語コースのクラス増により、日本語教師が不足していることもあり、初めて、台湾の留学生仲介機関・日本村主催による「**学校説明会・採用説明会**」を 2 回行い、新たな会員獲得に努めた。

大学の講師によるセミナーとしては、「**夏の日本語教育セミナー**」「**日本語学習者は敬語をいかに捉えているか**」を実施した。また、好評の「**日本語教師のためのベトナムセミナー**」「**日本語教師のためのイラストセミナー**」

一」の続編を実施したほか、大阪市立総合生涯学習センターと共催で「識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座」(5年目)を行った。「日本語教育能力検定試験対策講座」「日本語初級/中級文型の教え方講座」も例年通り開催した。

研修会・研究会関係では、「文法・構文研究会」、大阪YWCAで初めて教える会員を対象にした「新人研修プログラム」を実施した。

3. 生涯学習の各種クラス・講座

18年目をむかえた「子どもと子どもの本の講座」は、昨年と同様「子どもと本をつなぐ基礎コース」4ユニットと「図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース」2ユニットに分けて実施した。全ユニットを受講する熱心な参加者も多かった。山本淳子講師の「子どもとわらべ唄」は毎年人気が高く、リピーターも多数あり、満席となった。「児童文学を楽しむ特別講座」は昨年度と同じく11回開催した。今回は若い頃に読んだ若草物語や人魚姫などを読み直す講座もあり、好評だった。上田由美子講師の「ミリー・モリー・マンデー」や「クリスマスのおはなし」も盛況であった。

韓国語講座は、初中級から上級レベルまで3クラス編成となった。各クラスとも継続受講生がほとんどであった。出張授業として、吹田市にあるシニア向けカルチャー教室の韓国語講座を昨年度に引き続き担当した。英語講座は、今年度より『ピーターラビットの絵本』を英語で読む講座を毎月1回開催した。ベトナム語講座は近年のベトナムブームをうけ、「トライアル講座 はじめてのベトナム語」を計3回実施。予想を超える受講生が集まった。来年度よりレギュラークラス「はじめてのベトナム語」として開講する。

2018年4月に開催される100周年記念旅行の事前講演会として香雪美術館館長内海紀雄氏を迎えて講演会「五島列島の殉教の歴史と教会堂建築」を11月に開催した。

また奥西峻介講師の協力により、様々な会を開催した。「映画を楽しむ会」は1回実施し、一般を含む20名が集まり、映画「日の名残り」について各々の感想や考えを語りあった。「歩こう会」は天候不順のために2回中止となったが、合計6回実施できた。奈良などを訪れ、講師の解説を聞きながら散策する気軽な活動である。連続講座「人類の文化～望洋の弁～」は、今年度をもって終了となった。

毎年恒例となりつつある美術鑑賞講座は、会場を梅田に戻し大久保恭子京都橘大学教授を迎えて開催した。俳句講座は高浜虚子の孫、松田美子講師を迎え、梅田と千里で交互に毎月行っている。日々の生活が心豊かになると好評である。会員増加を目的に初心者向けの絵手紙の入門講座も開催した。2014年度にはじまり、定着していた「脳力UP!手話講座」は、ひとまず今年度いっぱい終了、次の展開を模索する。

II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

「ソーシャルワークセミナー」は、昨年度と同様、「傾聴力養成コース」と「支援力養成コース」の2コースを開催し、両コースとも熱心な受講者に恵まれた。発達障がいをもつ子どもたちの理解と支援を学ぶ支援力養成コースには、当事者の家族のほか、学校、児童養護施設などから多数の参加があった。

今年度も大阪府府民文化部人権局からの委託を受け、コミュニティ・コーディネーター養成事業「まちづくり担い手セミナー」を実施した。その他、企業へマネジメントやコーチング研修プログラム等の提供、大宮保育園園児のための英語プログラムや、職員研修も実施した。

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

「気軽に憲法について語れる場を」との思いから始まった憲法カフェを今年度も3回(5月、7月、10月)開催。講師は大阪自由法曹団の協力により、弁護士を派遣していただいた。参加者が積極的に話し合い、実りある会となった。6月の共謀罪(改正組織犯罪処罰法)成立前には、弁護士を囲んで法案の勉強会を実施した。同じく6月には、震災以降現地に寄り添った活動を続けておられる山崎知行医師の協力を今年も得て、福島の実状とこれからの課題についての現状報告の場をもった。

また、連続学習会「大人の社会科」を2回(2月、3月)開催し、近代史を映画やアニメなどのエンタメ作品を用いて学んだ。

ピースアクション2017「ベルばらで憲法を学ぶ」では、内山宙(うちやま ひろし)弁護士を招き、ベルサイユのばらをはじめとしたエンタメ作品で憲法を分かりやすく解説していただき、より憲法を身近に感じる事が出来た。

3. 国際的な諸問題についての学習と啓発事業

パレスチナグループは、「りさ〜ら」（アラビア語で「手紙」「伝言」）の発行を目指し活動を継続している。

4. 東日本大震災被災者支援

被災地の子どもたちを大阪に招くリフレッシュプログラム「大阪わいわいステイプログラム」、11回目となる今回は、8月5日（土）～8月12日（土）7泊8日で行われた。1日目は晴天の中、万博公園で思いきり身体を動かして遊んだ。2日目は、池田ラーメン博物館、天神橋筋商店街へ。お好み焼を堪能した後、台風接近のためホストファミリーの協力を得て早めの解散となった。支援活動継続のためにも、他団体との協働を模索していたが、今年は大阪YMCAの協力を得て、3泊4日の阿南海洋キャンプに参加させていただいた。海での活動を満喫し、「自然の中で思いきり遊ぶ機会を提供する」という目的にも合致したプログラムを提供することができた。リフレッシュプログラムには、昨年に引き続き「公益財団法人俱進会」の助成をいただいた。

2月に開催予定だったチャリティーライブ「stand by you vol.6」は、残念ながら中止となった。被災地のことに思いを馳せ、毎年3.11に近い日程で継続している街頭募金を今年は3/10に行った。多くの方の小さな勇気と思いやりにより、総額10,200円の募金が集まった。被災者支援活動の資金集めの目的だけではなく、支援の継続の必要性を広く不特定多数の人たちに訴える、啓発の意味合いも感じている。今後も支援継続の必要性を認識しつつ、粘り強く活動を続けていきたい。

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット（知的障がいをもつ女性たちのグループ活動）

知的ハンディキャップを持つメンバーが委員会に委員や席席として参加し、企画にも積極的に関わっている。ボランティアと協働して誰もが自分らしくいられる場をつくり、充実したプログラムづくりをめざした。10月はあいにくの天候で中止となったが、月1回の例会は室内や外出プログラムを実施。8月には家族の集いを開催し、交流を深めた。またバザーでは今年もパレットSHOPを出店し、メンバーらが製作した小物などをメンバー自らが販売、バザーの食堂でも多くのメンバー・ボランティアが働き人として活躍した。今年度の一泊旅行は大和証券福祉財団の助成を得て9月に淡路島へ出かけた。作業所が運営する喫茶店を訪問し、障がいを持つ人の働く現場を見学・交流させてもらうことができた。

(2) 特別支援学校の生徒・保護者への支援事業（独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業）

「特別な支援を必要とする子どもと保護者のライフプランを見据えて包括的に支援すること」を目的に、啓発講演会「ホリスティック・ケアとは～就労を軸にライフプランを具現化する～」、ガールズSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）、ケースカンファレンス「10代、20代の自立・就労応援プログラム～親と本人の相談事業～」、連続講座「生きづらさを抱える子ども・若者への地域支援員養成講座～特性やコミュニケーションに課題を抱える人を支援するために～」を実施した。昨年度行なったプログラムをさらに充実させ、より多くの専門家や関係団体と連携をとりつつ、実施することができた。

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

(1) むらさきつゆくさの会（視覚障がい者のための生け花の会とガイドヘルプ）

視覚障がい者のための生け花講座むらさきつゆくさの会は、中山文甫会のご協力のもと毎月1回開催している。14名の受講生と9名のボランティアが楽しく活動している。毎年1回、講座に関わる全ての人との交流会を実施しているが台風接近のため延期を余儀なくされ、2月にミニ交流会として茶話会を実施した。

(2) リーディンググループ

リーディンググループは、メンバーの減少で活動を継続することが難しくなったグループもあるが、3グループが依頼圖書の音訳奉仕や朗読を続けている。

(3) 点字子ども図書室

今年度も多くの児童書を点訳した。2017年度現在までの蔵書数は3,357タイトル、6,767冊を数える。例年通り、統合教育を行う小中学校の算数・数学・理科の教科書の点訳、金蘭千里中高のボランティアクラブで、

点字講習を行っている。毎週、約50名のボランティアが元気に活動を継続している。また今年度は毎日新聞大阪社会事業団より助成金をもらうことができ、活動資金の支えとなった。

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

千里ボランティア委員会は、地域やシャロン千里内で様々なボランティア活動を展開している。隔月（奇数月）に実施している地域の高齢者を対象としたお楽しみプログラム付き昼食会「**いこいの集い**」や、毎週木曜日に行なっている「**配食サービス**」はお弁当を作り届けることで、地域との交流の輪が広がっている。ケアハウス入居者に対する「**おしゃべりルーム**」は入居者が積極的にかかわり、他団体のボランティアグループとYWCAメンバーが協力しプログラムを作り上げている。デイサービス喫茶ボランティア「**シャロンカフェ**」はボランティア不足が課題となっているが月数回実施している。**井戸端カフェ茶話茶話**は、シャロン千里にどう人たちのコミュニケーションの場として毎月2回玄関ロビーで開店。手作りのケーキとお茶、ボランティアとおしゃべりを楽しみにしているケアハウス入居者にも定着している。主催講座は2月に宝塚市民病院緩和ケア病棟チャプレン・カウンセラーの沼野尚美氏を迎え、講演会「**人の心に聴くとは ～良い援助者になるために～**」を実施。チャプレンでの様々な経験をユーモアを交えながらのお話は、大変楽しく有意義な時間となった。また、**会員・ボランティア研修**を「**明日への活力を養って仲間を増やそう**」のテーマで金香百合会員を迎え3月に行なった。時代の変化が激しい中で仲間を増やすことの難しさを改めて認識しつつ、未来に向けて新しい活動の形を模索する必要性を感じた。

4. DV被害女性の支援事業

「**ステップハウスを支える会**」は6月に年次レターNo.11を発行。会員数は現在33名。個人、企業、教会からも多数の寄付をいただいている。

ステップハウスでは、入居についての問い合わせはあるものの、利用者数が減り、本年度は1名のみ（約4ヶ月）の利用となった。2018年度は、ステップハウスの今後の有様、方向を決定する年とすることを申し合わせた。恒例のクリスマス会では、元入居者たちから近況報告があった。

東京YWCA主催（協力：大阪YWCA・いくの学園、後援：大阪市）で、9月、1月に3日間にわたり実施された「**DVサバイバーと協働するための支援者トレーニング in 大阪**」に協力。

昨年に引き続き、グループ活動としてジェンダー女子会を8回、主催講座のくれよん月例会「**私らしく咲く～こころの発達を考える講座～**」（第2弾）を11回開催した。

2月には、夕陽丘基金助成金の交付をうけ、「**DV被害サポーターのための支援力アップ講座**」を行った。

大阪府共同募金会からの助成金が昨年度に引き続き交付を受け、防災用品を備えることができた。

5. 中国残留邦人等への支援事業

（1）近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

中国帰国者Ⅰ世代からⅢ世代まで、年齢や生活環境など多様な背景を持つ中国帰国者への支援を実施するため、日本語学習、交流、就労など、必要とされる様々な支援を行った。2017年度は中国残留邦人等の高齢化にともない、新たに「**介護支援事業**」が加わった。

厚生労働省委託事業である**近畿中国帰国者支援・交流センター**では、2017年度、日本語学習支援として、**春夏期、秋冬期ともに11コース16クラス**を開講し、約280名が登録、毎月延べ約600名が来所した。1世代が受講する日本語クラスでは、「**地域生活で使える日本語の習得**」を目指し、ボランティアの協力の下、日本語で交流を持つ「**会話交流**」を実施した。また、就労世代であるⅡ～Ⅲ世を中心としたクラスでは、集中的に学べるコースや上級レベルの日本語コースを開講し、「**就職活動**」「**ビジネス場面**」で役立つ日本語が学べるようにした。他にも**キャリアアップ支援**を目的とした「**日本語能力試験**」「**通訳案内士**」の**資格取得対策**を開講した。7月の日本語能力試験N2、N1にそれぞれ1名が合格、また日本語学力テスト3級に2名が合格した。12月の日本語能力試験にも3名が挑戦した。日本語クラス以外に**パソコンコース**も引き続き開講した。これら通学学習課程に参加できない帰国者のためには、遠隔学習課程（通信教育）の**スクーリング**を実施した。遠隔学習課程のうち、「**ホームヘルパー受講準備コース**」は当センターが担当。また、**地域交流事業**としては、Ⅰ世代対象に「**朗朗（ランラン）クラブ**」を実施した。延べ約250名の登録があり、歌、腰痛予防体操、介護予防体操、和洋裁などに参加している。また、毎週日曜日、受講生が自主的に運営する**社交ダンスコーナー**ではリーダーを中心にダンスを楽しんでいる。このように日本語学習、交流事業を両輪とし、高齢者から若年層まで多様なニーズに応えられるよう取り組んだ。9月に実施した各自治体職員対象の「**近畿ブロック担当者連絡会議**」では、25の自治体と厚生労働省から出席があり、支援状況に関する報告、活発な意見交換がなされた。また、「支援者研

修」 「中国帰国者への理解」等を目的とした「ボランティア研修会」を病院職員、ケースワーカー等を対象に実施した。1月には、普及啓発活動の一環としてシンポジウム「中国帰国者を知る・聞く」を堺市市内にて実施し、138名の参加があった。その他に、収穫体験などを通して、地域支援者と継続的に交流を行い、関係作りに努めた。これにより、一方的に支援を受けるだけでなく、中国帰国者自らが、田植え、地域のイベント、バザーの際に支援者として活動することができた。地域生活支援推進として、地域で支援活動をするボランティア団体や自治体を訪問し地域事情の理解に努め、ボランティア団体が行う交流プログラムに関する相談やアイデア提供等、地域活動に協力をした。就職援助事業では、企業の人事経験者の協力を得て「就労面接練習」や、梅田ハローワークの協力のもと「ハローワーク求職体験実習」など就職活動に関する演習を行うと同時に、求職情報の提供も行った。2017年度の新たな支援事業である「介護支援事業」では、介護施設において中国帰国者に中国語で語りかけを行う「語りかけボランティア」を募集、養成し、介護施設への派遣を開始した。

(2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

大阪市中国帰国者支援事業では梅田に高齢者対象の日本語ゆっくりコース4クラス、パソコンコース1クラス、朗朗自習パソコンクラス1クラス、平野区に日本語コース2クラスを開講した。それに加え、平野区および東淀川区でも月に1回、「引きこもり防止」を目的に介護予防体操を実施した。東淀川区では近隣にある総合病院のリハビリ指導者、栄養士、ソーシャルワーカーの協力によるプログラムも実施した。合計約100名が在籍し、日本語学習や交流活動に参加している。この他、自立支援通訳・自立指導員派遣事業として月平均約200回を超える派遣を行った。

(3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

門真市中国帰国者支援事業では毎週日曜日、日本語コース3クラスを開講、約35名が在籍している。昨年度から引き続き、学習歴のない人や高齢者の参加を促進するため、“楽しく学ぶ”ことに重点をおいた。支援・交流センターで実施した「学習発表会」に門真教室から多数が参加した。地域のボランティアの協力により、月1回の会話練習を開始した。地域交流を目的に実施している「朗朗門真」には、毎回10～15名ほどの参加があり、社交ダンス、手芸、太極拳、ヨガなどを実施した。日本語学習、交流活動ともに地域ボランティア参加の機会を増やし、教室に参加する中国帰国者と近隣地域とのつながりが深まるよう取り組んでいる。

(4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

京都市中国帰国者支援事業では、宇治市内で毎週日曜日に日本語コース2クラスを開講した。地域日本人ボランティアの協力を得て臨場感ある日本語会話の練習も取り入れた。「朗朗京都」として高齢者を対象に「健康体操」や「クラフト」などのプログラムを月2回程度実施した。

(5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

宇治市中国帰国者支援事業では、毎週日曜日に日本語コース2クラスを開講した。地域日本人ボランティアの協力を得て臨場感ある日本語会話の練習も取り入れた。「朗朗京都」として高齢者を対象に「健康体操」や「クラフト」などのプログラムを月1回程度実施した。

(6) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

堺健老クラブは、毎週木曜日3クラスを開講、約30名が在籍している。3クラス合同で行う課外授業には、地域ボランティア約10名の参加があり、会話練習、課外活動などを一緒に行った。今年度はより「引きこもり防止」「地域との連携」「学習した日本語の活用」を目的に、三原台府営住宅の集会室において新たに「堺朗朗クラブ」を開始した。自治会役員、社会福祉協議会のサポートを受けながら、介護予防運動、盆踊りなどのプログラムをとおして、地域の一般住民と中国帰国者が自然と交流できる時間を持った。また、地域交流バス旅行として神戸YWCAを訪問し会員ボランティアとグループワークや交流の時をもった。

(7) 和歌山県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

地域交流事業として和歌山県の帰国者が大阪の防災センターを訪れ地震体験や防災について学んだ。

(8) 兵庫県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

「医療通訳研修会」を全7回実施し、21の自治体から延べ462名が参加した。中国帰国者の高齢化を考慮し医療だけでなく、介護や葬儀、グリーンケアなどの内容も取り入れた。また、医師を講師に迎え専門的なことも学んだ。

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

ハロハロワールドスクールを2回、夏キャンプ、春キャンプ、そとあそプログラム、クリスマス会を実施した。「はなしあう みとめあう」を年間テーマとし、お互いを尊重しながら合意形成していく力をつけることを目標に各プログラムにて話し合い活動を取り入れた。

リーダートレーニングは夏キャンプに向けて計2回、春キャンプに向けて3月に1回実施した。座学ではワークも取り入れてこどもとの関わり方を学び、実習ではキャンプ場にて火起こしなど野外活動の技術を学んだ。共に学ぶことで、既存リーダーから新規リーダーへの知識伝達も行われ、有意義な時間となった。

メンバー、新規リーダーの獲得・定着に課題が残る。広報の仕方を改善し、次年度さらに力を入れていく。

(1) 自然体験プログラム

夏キャンプは「炎と氷のアドベンチャー」と題して、大阪市立信太山青少年野外活動センターにて1泊2日の日程で実施。グループでメンバーたちが協力し合って野外活動の楽しさを体験することを目標に自炊やテント張りなどの野外活動を行った。

春キャンプは3月下旬、「森のラーメン屋」と題しわくわくの郷（吹田市立自然体験交流センター）にて実施した。グループ単位でラーメンの味や具の決定、材料の買出し、麺を生地から作るという一連の作業を通してみんなで協力しながらひとつのものを作り上げていく難しさと楽しさを体験する2日間であった。

そとあそプログラムは5月に実施。「ネイチャーハンター☆」というタイトルで千里中央公園にてグループに分かれ、秘密基地作りをした。メンバー間でしっかり話し合い、それぞれのグループの特色が出た見事な秘密基地ができた。

12月には「クリスマス会（仮面でおどるの巻）」を実施。ベネチアンマスクの土台を用いて仮面を作り、メンバーみんなで考えた振付で自作の仮面をつけてダンスの発表会を行った。

(2) 小中学生のための異文化理解プログラム

国際理解プログラム「ハロハロワールドスクール」は6月と11月に実施。6月は「とびだせ！ハロハロ調査隊！in 大阪城公園」と題して、メンバーたちがグループで話し合い決めた質問をもとに、外国人観光客の方にインタビューをした。快くインタビューに協力してくれた観光客の方々のおかげで、様々な文化に触れることができた。11月は昨年度に引き続き「Where is she from?」第2弾として開催。ベトナム人ゲストを迎え、ゲストの国について遊びやクイズを交えながら学び、日本とベトナムの違いや共通点を知ることができた。

(3) 子どもミニスクール

「子どもミニスクール」は外部講師や会員の協力を得て様々なプログラムを提供している。今年度は、冬休みに1日、初めて千里で行なった。ストーリーテリング、ネイティブ講師と楽しむ英語のほか、ちぎり絵で年賀状作り、理科実験「たまねぎの皮でハンカチを染めよう」を体験した。

2. 子ども図書室事業

毎週水・金曜に子ども図書室を開館。月2回の「ちゅうりっぷくらぶ」では親子でわらべうたや絵本を楽しむばかりでなく、お母さん同士のつながりや図書スタッフとの信頼関係もでき、図書室の利用につながっている。7月には「夏休み子どもおはなし会」、大人を対象にしたものとしては2月「ミニおはなし会」、5月・12月に「大人のためのおはなし会」を実施し、好評であった。また9月には、「YWCAライブラリースクール～創作物語をストーリーテリングで楽しむ～」を実施し、大変好評であった。定例の勉強会も継続し、近隣の保育園や小学校等へおはなし会の講師として関わっている。

3. 子育て支援事業

(1) 梅田

子育て支援プログラムはあみあみカフェを不定期ながら、あみものだけでなく料理交流なども行い、世代を超えた交わりの場となっている。

(2) 千里

千里子育て支援委員会は、シャロン千里こども館、千里子ども図書室・ちゅうりっぷくらぶと協力・連携し

おやこひろばを中心に活動を展開。温かい講師に見守られ、子ども同士・親同士が出会い、成長する場となっている。おやこひろばは今年度で参加しているこどもの大半が卒業するため、広報に力を入れ新規参加者を集める努力をした。その結果、多くの見学者が来館し次年度につながった。日本アドラー心理学会家族コンサルタントの松永茅光氏を講師に、昨年度より始まった**アドラーdeママズカフェ**は毎月子育ての悩みを共有できる貴重な会となっている。定員10名のところ12名受け入れているがキャンセル待ちの状態が続いており、その他の希望者のために11月にミニ学習会を開催した。7月には恒例となっている晩ごはん付プログラム「**真夏の夜のおはなし会**」を子ども図書室メンバーの協力を得て実施した。ろうそくをともしてのお話会に子ども達は夢中で聞き入っていた。9月には、子ども連れではなかなか参加しづらいクラシックに親しんで欲しいとの願いから、**親子で楽しむピアノとヴァイオリンコンサート**を開催した。素敵な演奏者を前に子ども達は目をキラキラさせて聴き入っていた。

4. 外国人学生へのホームステイプログラム

専門学校日本語学科の夏期集中コース参加者を対象に、ホームステイプログラムを実施。今年度は、ホームステイ希望者が非常に少なく、学生2名（台湾1名、ベトナム1名）を受け入れ、2家庭でのホームステイを行った。新規ホストファミリーについては1件の登録があった。

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

様々な世代の交流、会員親睦などの機会をつくっている。

傾聴関連活動は、カフェと訪問傾聴2つの現場で取り組んだ。**傾聴カフェ・ラベンダー**は、ボランティアの減少から1回減らし、月2回ペースで実施。臨床心理士の井ノ崎敦子氏を招き毎年研修会も行っている。**訪問傾聴・コスモス**は個人宅訪問と桃山台にある施設に訪問し傾聴をしている。

クリスマス会は第一部礼拝では山崎道子牧師（豊中教会）からのメッセージをいただき、第二部ではサキソフオンアンサンブルによるクリスマスソングのミニコンサートを開催し、その後、手作りの料理と一緒に楽しんだ。

梅田会員部所属グループは現在14あり、約100名のメンバーが自主活動を展開している。**リーディンググループ**、**むらさきつゆくさの会**、**みのり会**、**英会話サロン**、**聖書を学ぶ会**、**スウスの会**、**いのちを語る会**、**絵手紙の会**などのグループが定期的に活動を行っている。

この他、中国帰国者の方の協力をいただき、交流を図りつつ水餃子作りを3回行った。2月には帰国者の方に指導していただきながら水餃子を作って食べる講座を開催し親子連れも参加した。

7月と3月には会員ルームでの**ミニバザー**を開催した。

2. 千里

毎年恒例の**会館大掃除**は6月に会員や各グループの協力の元、ボランティア厨房、外回り、ホール、こども館、ボランティア室を清掃した。趣味のグループ**生け花**、**水彩画**もにぎやかに活動中。12月の**クリスマスミニセール**はクリスマスの華やかな品々がならんだ。**クリスマス会**は吹田教会の田中郷史牧師を迎えての礼拝と、**千里ハンドベルクワイア**によるミニコンサート、ゲーム等を楽しみ、クリスマスの喜びを分かち合った。恒例となった**毛糸の帽子を編んでみよう会**は多くの方の協力により約300個の帽子が集まり、歯ブラシ、固形石けんと共に釜ヶ崎に贈ることができた。

YWCAでの様々な行事に明るい歌声で華を添えてくれている**千里合唱団**は今年度創立35周年を迎えた。7月、豊中にあるアクア文化ホールにて記念コンサート開催。定員いっぱいの500名の来場者を迎え素晴らしい歌声とハンドベルを披露した。さらに12月にはJoyful Christmasと題し、合唱、ハンドベルに、クラリネットとピアノのソロも加えたコンサートを実施、多くの来場者を楽しませた。その他、毎年恒例の**歌声サロン**を今年度3回開催した。毎回盛況で、開催を心待ちにしている地域の方々やケアハウス入居者はじめ、多くの参加者が、生演奏による伴奏と手作りのお菓子を楽しんでいる。

聖書を読む会、**サロン四季**、**Bridges**、**文月会**の各グループは、それぞれ充実した活動を展開中。また、**清拭布**、**使用済み切手整理**、**会館清掃**、**アトリエ創**などのボランティアグループは、シャロン千里の入居者や地域の方の参加もあり活発に活動している。また年数回開催している「**千里でお茶を**」ではYWCA会員と職員から「**CSW参加報告**、**フィンランド研修報告**」を聞く会を5月に開催、2月には元アドボカシーセンター代表理事の堀河昌子会員から「**大阪YWCAが生み出した被害者支援活動**」と題して、YWCAの一活動であった被害者支援活動が、NP

〇法人を取得しアドボカシーセンターとして活動が大きく広がった経緯等を詳しく聞いた。11月には、毎年夏に実施していたバックウッズマウンティニアーズのコンサートを実施、毎年楽しみに待っている多くのリピーターとともにブルーグラスの演奏を楽しんだ。3月には、東北に思いをはせる集いを開催。現在の福島の報告と福島の中学生在が書いた詩の朗読に加え、昨年に引き続き東北支援の活動をしているアーティスト森田氏らによる親子でも楽しめるミニライブを行った。古本市やくるみゆべしの販売、当日の参加費等の収益はすべて東北支援の活動に寄付をした。

3. ボランティアの受け入れ

主には、電話やホームページからボランティアの問い合わせがあり、毎月1回のペースでボランティア説明会を開催している、説明会に参加ができない人には、個別での対応を行っている。1年間のボランティア登録者数は36名。今年度も、クリスマスバザーに特化したボランティア説明会を開催した。

4. バザー

(1) クリスマスバザー実行委員会

12/2(土) 冷え込んだものの、雲ひとつない青空の下、会館内はバザーボランティアを含む約830名の来場者で賑わった。7月の実行委員会立ち上げから半年にわたって準備を進め、目標額を超えることができた。今年度も入場料は100円。入場料収入の半額にあたる51,400円を、東日本大震災被災者支援のプログラムに用いた。ボランティアの慢性的な不足は今後の課題である。

(2) 千里バザー実行委員会

昨年度と同様に6月には千里バザー、10月には千里ガレージセールを行なった。バザーは準備も含め会員・ボランティアの協力で当日はたくさんの人でにぎわった。またガレージセールは、あいにくの雨にも関わらず、例年並みの来場者があり、こちらも会員・ボランティアの協力により、目標額を達成することができた。収益の中から、外部団体や社会貢献活動に献金をおこなった。

5. 100周年記念実行委員会

(1) 全体

100周年記念実行委員会は、年史、イベント、旅行、ガールズ・パワーアップ・プロジェクト、式典の小委員会に分かれて活動を本格化。4月より100周年記念募金が開始され、3月末までに890万円を越えるご寄付が寄せられている。

(2) 年史小委員会

年史小委員会は、資料集めと執筆をすすめると共に、「未来へ ～100のメッセージ～」と題してYWCAへの思いや期待をこめたメッセージを募集した。

(3) 旅行小委員会

旅行小委員会は10月に「7年目の『フクシマ』を感じる旅」を実施。16名が参加し、日本YWCAと福島YWCAが運営する被災者支援活動の拠点「カーロふくしま」や会津放射能情報センター、土湯温泉のバイナリー発電所などをたずねた。裏磐梯の五色沼の散策や温泉なども楽しみ、今後の継続的な支援につながる、楽しく実りの多い旅となった。

(4) イベント小委員会

イベント小委員会は、7月に林家染雀落語会を、1月には、マリオネットコンサートを実施した。2組とも、これまでもチャリティイベントにご協力いただいていたゲストである。落語会では、100周年を「松づくし」で祝っていただいたほか、あたたかいお祝いの言葉もいただいた。

(5) ガールズ・パワーアップ・プロジェクト

昨年度より始動した「ガールズ・パワーアップ・プロジェクト(旧:若い女性のリーダーシップ育成事業プロジェクト)」では、2018年夏「若い女性の国際フォーラム“Girls Power for Peace”」の実施を目指し、3年に渡りシリーズ講座を開催している。今年度は18歳～おおむね25歳までの女性を対象とした「ファシリテーター養成講座」を2回、中学生からも参加できる「リーダーシップ養成講座」を2回(うち1回は宿泊)実施

した。参加者同士の交流や、自分の意見を発信する中で、世界のことや自分自身について新しい発見のある豊かな時間を過ごした。これまでに、年齢も出身も多様な中学生からおおむね 25 才までの女性が延 30 名参加した。今後は 2018 年 8 月 10 日～12 日に開催される若い女性の国際フォーラムに向けて、これまでの講座に参加したユースも交えて準備を進めていく。フォーラムには、ホンジュラス出身のアンドレア・ミシェル・グラデイス・ディアス氏（世界 YWCA 副会長）がゲストとして参加する。

シスターフードプログラムでは、8 名の若い女性を各国 YWCA（オーストラリア、韓国、スリランカ、タイ、台湾、ネパール、フィリピン、ミャンマー）、より招聘し、大阪 YWCA 専門学校日本語夏期集中コースを受講しながら、国際フォーラムに向けてトレーニング等を行う予定である。加えて姉妹 YWCA の韓国大田 YWCA と釜山 YWCA の 2 人も国際フォーラムに招聘した。

VI. 広報

1. 機関紙

発行回数は、定例機関紙 [A4 版 4 頁] 年 6 回、特別号 [A3 版両面] 1 回。

定例版の 1 面は主に外部執筆者にその時々の課題を明確にする寄稿を依頼、2～3 面は、YWCA の関心事や活動テーマを掘り下げる内容となっている。今年度 1～3 面で取り上げたテーマは、安保関連法に反対するママの会、東日本大震災被災者支援、共謀罪、エンタメで語る憲法、南スーダン現地報告、犯罪被害者支援との歩み、ヒバクシャ国際署名等。4 面には、専門学校をはじめ大阪 YWCA に関わる報告を主に掲載した。

連載では、『ぶどうの木』、『YW の窓』、『クローズアップ』を継続した。

2 月に大阪で開催されるワン・ワールド・フェスティバルでの配布を主眼に、9 度目となる特別号を発行。1 面に大崎麻子（開発政策、ジェンダー専門家）からの「若い女性への応援メッセージ」、2 面には「大阪 YWCA100 周年記念 各国からのお祝いメッセージと記念事業の案内」を掲載した。

2. 広報

今年度はワン・ワールド・フェスティバル for Youth に出展し、普段関わる機会のない高校生・大学生達に YWCA の存在を直接アピールすることができた。この日対応したうちの 2 名がガールズ・パワーアップ・プロジェクトにつながり、出展の効果が見られた。また、毎年恒例のワン・ワールド・フェスティバルにも出展。総合案内チラシを作成し、他部署と連携して YWCA の広報に努めた。

その他、100 周年記念グッズとして制作する手ぬぐいのデザインを公募することにし、3 月から募集を開始した。広報グッズとしては、新しいデザインで一筆箋を制作した。

3. ホームページ・WEB 関連

今年度の HP からの問い合わせ（専門学校を除く）は、年間 198 件あった。問い合わせ対象で主だったのは講座関連、社会貢献活動部門のプログラム、ボランティア活動、教師会主催の 4 種類だった。専門学校ではツイッターの利用を開始し、財団の方でも同じく開始する予定。

VII. 日本 Y・他市 Y・他団体関係

YM/YW 合同祈祷週集会は「立ち上がり、思い切って言いなさい～抑圧や、差別におかれた人々の声～」をテーマに行われた。第 1 部の礼拝では沖村裕史牧師（日本基督教団塚口教会）よりメッセージをいただき、交流会では大阪 YWCA による食事と交流を楽しんだ。各 Y からの出し物では、ガールズ・パワーアップ・プロジェクトの報告を行った。3 市 Y 交流会は、今年度より 2 年間の予定で、日本 YWCA の地域 Y を主体とした活動助成を受け、会員のリーダーシップを養成するための合同合宿として実施することとなった。第 1 回目は、7 月に京都の関西セミナーハウスでおこなわれ、会員の減少やバザーなど各 Y 共通の課題について時間を気にせず話し合うことができた。また、熊本 YWCA とはユース育成をテーマに同じ活動助成を受け、10 月にシャロン千里を会場に、全国ユースカンファレンスを実施した。北は福島から南は熊本まで 18 名のユースが集まり、人間関係に関するワークショップや、今後 YWCA で取り組みたいことのアイディア出しなどで熱のこもった話し合いが行われた。

他団体関係では、おおさか女性行進、九条の会・おおさかに、ヒバクシャ国際署名推進・大阪連絡会の呼びかけ人を務めた。担当を担った世界祈祷日は、東梅田教会を会場に実施した。

I. 教育事業

1. 専門学校事業

(1) 全体概要

◇会議

- *日本語学科受入れミーティング 6回実施 出席延数27名
- *広報ミーティング 2回実施 出席延数22名
- *クリスマスパーティー実行委員会 2回実施 出席延数28名
- *予備教育講師会 3/13 出席7名
- *担任会 9/27、3/20 出席19名
- *全体講師会 10/3、3/30 出席65名
- *中間講師会 6/19、12/6 出席58名
- *全体反省会 9/22、3/9 出席54名
- *春期報告会 9/21 出席9名
- *卒業判定会議 3/7 出席10名

◇外部団体合会への参加・出席

- *大阪府専門学校各種学校連合会
 - ・留学生委員会ワーキング会議 (14回) 中山羊奈
 - ・留学生委員会研修会打合せ (1回) 中山羊奈
 - ・人権教育研修会シンポジウム「障がいのある生徒が安心して学ぶために」(10/12) 川崎仁子
 - ・外国人留学生採用企業交流会 (11/13) 佐伯玲子、中山羊奈
 - ・日本語教育機関と専修学校との連携による外国人留学生教育研修会 (1/29) 川崎仁子、中山羊奈
 - ・日本語教育・職業教育国際シンポジウム (2/23) 佐伯玲子、川崎仁子、中山羊奈
- *日本語教育振興協会
 - ・近畿地区教育集会 (6/24) 牛江真由子
- *その他
 - ・K-FIS (関西留学生国際交流支援連絡会) 主催 留学生企業実習・受入説明会および留学生生活用企業座談会 (4/17) 川崎仁子、佐伯玲子
 - ・大阪府主催 大阪留学生相談窓口事業報告会 (4/24) 川崎仁子
 - ・大阪府基礎資料調査説明会 (5/1) 藤田実余子
 - ・さんぼう主催 留学フォーラム (6/10) 清島千春
 - ・エール学園主催 越境ECパネルディスカッション&座談会&名刺交換会 (6/12) 川崎仁子
 - ・大阪府警主催 留学生受入担当者に対する防犯指導 (6/29) 藤田実余子
 - ・JaLSA 主催 関西教育・文化懇話会 (7/12、1/15) 池田操
 - ・シャロン千里主催 ひまわり学級 (7/28、8/9) ファム ミン チャウ、許穎弋 (ゲストとして)
 - ・とよなか国際交流協会訪問 (8/28) 牛江真由子、川崎仁子
 - ・文化庁主催 日本語教育研究協議会 (9/30、10/1) 牛江真由子、氏原庸子、川崎仁子、清島千春、佐伯玲子
 - ・池田泉州銀行主催 外国人材活用セミナー (10/2) 川崎仁子
 - ・京都日本語教育センター主催 京都日本語学校第50回定期講演会 (10/28) 牛江真由子、川崎仁子
 - ・一般社団法人全国専門学校日本語教育協会主催 全国専門学校日本語学習外国人留学生・日本語弁論大会打合せ (1/12) 藤田実余子
 - ・兵庫県国際交流協会多文化共生課主催 地域に根ざした日本語支援を考える研修会 (2/10) 牛江真由子
 - ・兵庫国際交流拠点推進協議会主催 「地域・大学におけるビジネス日本語教育の現状と課題」(2/23) 岡本牧子
 - ・大阪大学日本語日本文化教育センター主催 大阪大学日本語・日本語文化国際フォーラム (3/16) 牛江真由子、川崎仁子

◇外部来訪

- *CAU GIAY 中学校 (ベトナム) (6/1) 川崎仁子、佐伯玲子、藤田実余子
- *MIRAI 日本語学校 (ベトナム) (7/6) 川崎仁子、藤田実余子
- *ドンズー日本語学校 (ベトナム) (10/6) 川崎仁子、藤田実余子、中山羊奈
- *大阪府立八尾北高校「社会リサーチ」訪問受入 (12/22) 金子蘭、川崎仁子

◇カウンセリングルーム カウンセラー：井ノ崎敦子、橋詰知子 相談者数実数5名、延べ相談回数26回

(2) 日本語学科・日本語第二学科

◇クラス数/学生数

クラス数		学生数				
		1年	1.5年	第二学科	一般	合計
春期	6	24	18	15	26	83
秋期	7	23	39	14	26	102

※モーニング会話クラスを含む。

◇出身国と地域：

中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、タイ、スリランカ、フィリピン、インド、ネパール、パキスタン、カンボジア、モンゴル、ロシア、アメリカ、カナダ、メキシコ、オーストラリア、フランス、イタリア、イギリス、サウジアラビア、日本

◇進学指導・生活指導関係

内容	回数もしくは日程	出席者数 (受験者のみ)
実力テスト	7回	478
文法テスト	16回	460
定期テスト (5科目)	4回	1396
継続生クラス分けテスト	9/19、3/5	100
新入生クラス分けテスト	9/29、3/27	42
日本留学試験	6/18、11/12	38
日本語能力試験	7/2、12/3	113
大学院進学ガイダンス	5/26	9
進路説明会	6/19、3/6	60
大学・専門学校進学説明会	8/23	59
進路相談	62回	92
生活相談	55回	55 (学生のみ)
第二学科面接	2/15、2/20	13 (学生のみ)
在留期間更新に係る面談	7回	7 (学生のみ)
予備教育：総合科目 4月～11月 22回 英語 4月～9月 23回 数学 4月～11月 28回 物理 4月～11月 8回 化学 4月～11月 12回 生物 4月～11月 13回		
非漢字圏学生の漢字クラス：4月～9月 (2クラス) 週4回、(2クラス) 週2回 10月～2月 (2クラス) 週3回、(2クラス) 週2回		

◇年中行事・校外学習・課外活動プログラム・特別授業

内容	回数もしくは日程	出席者数
入学式 (春・秋)	4/4、10/6	201
校外学習 (春・秋)	5/1、5/2、10/25、11/1	158
健康診断	4/27、28、5/18、11/28、12/7	184
レントゲン検診	12/12	82
日帰り旅行	7/7	68
スピーチコンテスト	9/22	78
ホームカミングデー	11/23	19
クリスマスパーティー	12/15	96
第二学科進学説明会	1/11	15
専門学校出前授業	1/29、3/6	73
全国専門学校各種学校日本語学習外国人留学生・日本語弁論大会	2/5	57
会話特別授業 (大宮保育園訪問)	2/8	15
学習発表会	3/9	94
卒業式	3/14	111

◇海外での学生募集

- ・中国 3回 大連、上海、北京、長春 計4都市 金子蘭、坂東暁子
- ・台湾 1回 台北、台南 計2都市 池田操、坂東暁子
- ・ベトナム 2回 ハノイ、ホーチミン、ドンナイ 計3都市 池田操、藤田実余子

◇イブニングコース

春期：4クラス 33名 秋期：5クラス 40名

出身国／地域：中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、マレーシア、カンボジア、ネパール、ベナン、オーストラリア、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、チュニジア、ベラルーシ、ロシア

◇日本語能力試験準備コース

春期：2クラス (N1、N2) 5名 秋期：2クラス (N1、N2) 8名

出身国／地域：中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、カンボジア、インド、オーストラリア、チュニジア、カナダ

◇夏期集中コース (7/20～8/8)

3クラス 23名

出身国／地域：中国、台湾、ベトナム、オーストラリア、モンゴル、イギリス

オプションプログラム：ティーパーティー (7/20 23名)、お好み焼き (7/21 17名)、インテリア雑貨作り (7/24 3名)、オリジナルだるま作り (7/25 4名)、お菓子作り体験 (7/28 10名)、アニメを描いてみよう (8/1 4名)、ちぎり絵うちわ製作 (8/4 2名)、ゆかた体験 (8/8 3名)

◇プライベート・出張授業 13件

◇会議

- *イブニング・能力試験準備コース 講師会 (4/11 12名)
- *夏期集中コース 担任会 (7/11 7名)
- *夏期集中コース 講師会 (7/18 17名)
- *夏期集中コース 担任反省会 (8/8 5名)
- *日本語能力試験準備コース 講師会 (9/9 5名)
- *イブニングコース 秋期講師会 (10/13 9名)

◇プレイスメントテスト

- *イブニングコース・日本語能力試験準備コース プレイスメントテスト (4/7 32名)
- *夏期集中コース プレイスメントテスト (7/20、24 23名)
- *日本語能力試験準備コース プレイスメントテスト (9/5～22 7名)
- *イブニングコースプレイスメントテスト (10/10～13 19名)

◇奨学金

奨学金名称	受給者名	受給額
文部科学省外国人留学生学習奨励費	チャン トゥイ アン (ベトナム/女)	月額 48,000 円 (1年)
大阪YWCA留学生里親の会奨学金	耿 毓庭 (中国/男) 周 忠宇 (中国/男)	月額 30,000 円 (6ヶ月)
鈴木保奨学金	サルガド メルカド マルセラ (メキシコ/女) ファム ミン チャウ (ベトナム/女)	年額 150,000 円 (6ヶ月)
大阪YWCA奨学金	ファム ミン チャウ (ベトナム/女) チャン ミン チー (ベトナム/男) グエン ティ キム チー (ベトナム/女) 楊 薇 (中国/女) 王 姝懿 (中国/女)	月額 30,000 円 (6ヶ月)

2. 日本語教師を育成する事業

(1) 日本語教師養成講座

◇新規入学者 春期 10名 秋期 1名

◇在籍数

コース名	外国語としての日本語を知るコース	日本語を教えるコース I	言語と文化を学ぶコース
在籍者数	11	13	13
コース名	日本語の歴史と文化を学ぶコース	日本語を教えるコース II	日本語のしくみを知るコース
在籍者数	10	7	8

◇講義回数 (年間総時間数 420 時間)

- *外国語としての日本語を知るコース：22回
- *日本語を教えるコース I：20回
- *言語と文化を学ぶコース：22回

- *日本語の歴史と文化を学ぶコース：21回
- *日本語を教えるコースⅡ：22回（実習回数20回）
- *日本語のしくみを知るコース：20回

◇修了生数 7名

◇プログラム

- *FFP (Foreign Friendship Program) 全129回 延361名
- *日本語本科会話授業 1/30 参加者：2名
- *中国帰国者クラス会話授業 2/3、24、3/4 参加者：5名
- *授業体験「文の形と構造」8/22 参加者：6名 「語彙と意味」8/24 参加者：6名 「音声・音韻」9/12 参加者：9名
「語彙と意味」2/6 参加者：4名 「音声・音韻」2/15、22 参加者：8名
- *JICA ボランティアセミナー 3/1 参加者：8名
- *ガイダンス&体験談「日本語教師奮闘記～ベトナム・中国・日本にて～」9/2 参加者：12名
- *ミニ講座「日本語って、どんな言葉？」1/27 参加者：3名
- *パネルディスカッション「現役日本語教師による養成講座&仕事について」2/3 参加者：4名
- *受講生募集ガイダンス 全5回 参加者：15名
- *個別説明会 延22回 参加者：22名

(2) 日本語教師会事業

- ◇会勢 新規入会者11名 総会員数214名（内休会68名）
- ◇月報 「マンスリー日本語教師会」の発行（12回）
- ◇図書・テープの貸し出し状況 図書 63冊、視聴覚教材 37本
- ◇入会オリエンテーション（日本語授業プレゼンテーション含む）2/10 15名
- ◇専任講師 佐伯玲子
- ◇専任講師会の実施 計6回
- ◇学校説明会・採用説明会（台湾の留学生仲介機関・日本村主催）12/7、9 32名
- ◇日本語教育状況

学校・コース名	教師数			
	春期	夏期	秋期	冬期
専門学校日本語学科全日制	28	—	28	—
〃 モーニング会話	4	—	4	—
〃 イブニング	7	—	8	—
〃 能力試験準備	3		3	
〃 夏期集中		15		
〃 ビジネス日本語クラス レギュラーコース	4	—	0	—
〃 〃 特別コース		2		2
近畿中国帰国者支援・交流センター	18	—	19	—
中国帰国者支援事業日本語コース梅田教室(大阪市)	4	—	3	—
〃 平野教室	2	—	2	—
〃 門真教室	3	—	3	—
〃 京都教室	2	—	2	—
〃 堺 健老クラブ	3	—	3	—
プライベート及び出張授業	14件／教師16名			

◇講座・研修会・研究会・プロジェクト

- ①新人講師研修会 全7回 対象者5名
- ②日本語教師ビギナーのための日本語初級文型の教え方講座 講師：佐伯玲子 全12回 12名
- ③初級文型との違いがわかる！日本語中級文型の教え方講座 講師：佐伯玲子 全12回 11名
- ④2017年度日本語教育能力検定試験対策講座
講師：島千尋 第一期：全6回13名 第二期：全7回18名 第三期：全8回22名 第四期：全9回20名
- ⑤識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座（大阪市立総合生涯学習センターと共催）
講師：伊東和子、野村麻里、村井喜久美 全10回
- ⑥夏の日本語教育セミナー 講師：定延利之（8/5）49名
- ⑦日本語教師のためのベトナムセミナー 講師：五十嵐世騰（10/27）29名

- ⑧セミナー「日本語学習者は敬語をいかに捉えているか」 講師：藤原智栄美 (2/16) 27名
- ⑨日本語教師のためのイラストセミナー 講師：児島弥生 (3/31) 38名
- ⑩文法・構文研究会 全11回 メンバー8名
- ⑪ビジネス日本語クラスのための特別研修プログラム 講師：小林誠二、山田登 全4回 6名
- ⑫ビジネス日本語プロジェクト 全11回 メンバー7名

◇外部出張（講師として）

- ①尼崎日本語教室「日本語ボランティア研修会」全3回 伊東和子
- ②生駒市「日本語学習支援ボランティア養成講座(入門編)」全3回 里井有里、中西久美子
- ③大阪市立総合生涯学習センター「[こほんごこんにちは(基礎レベルの日本語教室)]」全60回
伊東和子、大西雅子、大町暁美、田村亜津子、日吉和久
- ④大阪府教育庁「日本語初心学習者支援講習会」全3回 伊東和子、辻村文子
- ⑤同上「識字・日本語ボランティア研修」全1回 大西雅子
- ⑥トラベルジャーナル学園日本語授業 14クラス
大西雅子、小出芳生、樽井賢治、中西久美子、永持京子、日吉和久、福家枝里、松井治子、森山孝子
- ⑦東大阪日本語教室「日本語ボランティア講習会」全2回 中西久美子
- ⑧枚方市文化国際財団「日本語ボランティア養成講座」全19回
大西雅子、辻村文子、野村麻里、林昌子、山田登
- ⑨同上「日本語ボランティア ステップアップ講座」全3回 伊東和子、辻村文子
- ⑩松原市「日本語学習パートナー入門講座」全2回 辻村文子
- ⑪守口市国際交流協会「日本語ボランティア養成講座」全8回
里井有里、辻村文子、濱本千鶴子
- ⑫八尾市国際交流センター「外国人市民のためのセミナー」全3回 中西久美子
- ⑬八尾市立八尾中学校夜間学級職員研修「外国人生徒への日本語指導」全1回 伊東和子
- ⑭大和郡山市「日本語教室スタッフ スキルアップ講座」全2回 伊東和子、里井有里

◇外部集会・研修参加

- ①大阪市立総合生涯学習センター 来訪(6/7) 川崎仁子、佐伯玲子
- ②ビジネス日本語クラス特別コース 打ち合わせ(株いづみ企画 訪問) (6/26) 川崎仁子、小林誠二
- ③トラベルジャーナル学園 来訪(7/19) 川崎仁子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ④大阪府教育庁 来訪(8/29) 伊東和子、藤原裕美子
- ⑤八尾市国際交流センター 来訪(9/22) 川崎仁子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑥大阪市教育委員会 訪問(10/13) 川崎仁子、佐伯玲子、中山羊奈
- ⑦東大阪日本語教室創立20周年記念講演会(10/29) 川崎仁子
- ⑧神戸山手大学 来訪(1/24) 川崎仁子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑨武庫川女子大学言語文化研究所シンポジウム「ネーミングのコトバ学」(2/16) 氏原庸子、佐伯玲子
- ⑩トラベルジャーナル学園 来訪(2/28) 川崎仁子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑪大阪市立総合生涯学習センター 訪問(3/12) 川崎仁子、佐伯玲子
- ⑫神戸山手大学 来訪(3/13) 佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑬コスモスの会・尼崎日本語教室 訪問(3/20) 佐伯玲子、山下つねよ
- ⑭「[こほんごこんにちは]」訪問(3/22) 川崎仁子
- ⑮大阪大学大学院 訪問(3/23) 川崎仁子、佐伯玲子
- ⑯枚方市文化国際財団 訪問(3/23) 川崎仁子、佐伯玲子
- ⑰日本語教育学会関西支部集会(3/24) 川崎仁子、佐伯玲子

3. 生涯学習の各種クラス・講座

(1) ランゲージ

◇クラス状況

科目	春期		秋期	
	クラス数	在籍数	クラス数	在籍数
韓国語	3	10	3	9
『ピーターラビットの絵本』を英語で読む講座	1	8	1	6

◇単発講座

内容	日程	参加者数
はじめてのベトナム語トライアル講座	2/24 (2回)、2/28	延51

◇外部講座

内容	回数
ゆうえる倶楽部(吹田市)	全45回
幼児英語(大宮保育園)	全11回

◇会議・打合せ等

内容	日程	参加者数
幼児英語打合せ(大宮保育園)	6/2	5

(2) 子どもと子どもの本の講座

◇クラス状況

内容	回数	延人数
子どもと本をむすぶ基礎コース	20	269
図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース	11	149
児童文学をたのしむ特別講座	11	144

(3) 生涯学習・教養講座

講座名	講師	回数	受講者(延人数)
俳句講座	松田美子(俳人高浜虚子の孫・俳誌「春潮」主宰)	11	172
美術鑑賞講座	大久保恭子(関西外国語大学教授)	1	21
人類の文化	奥西峻介(大阪大学名誉教授)	11	121
奥西先生と映画を楽しむ会	奥西峻介(大阪大学名誉教授)	1	20
YWCA歩こう会	奥西峻介(大阪大学名誉教授)	6	62
五島列島の殉教の歴史と教会堂建築	内海紀雄(香雪美術館館長)	1	28
脳力UP!手話講座	笠井賢一郎	11	67

II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

◇連続講座

講座名	回数	延人数
ソーシャルワークセミナー「傾聴力養成コース」	10	155
ソーシャルワークセミナー「支援力養成コース」	5	47
コミュニティ・コーディネーター養成事業「まちづくり担い手セミナー」	4	58

◇外部講座

内容	回数	延人数
大宮保育園職員研修	2	16
クボタ教育センター	12	195
朝日新聞販売協同組合	2	48
イズミヤ	2	28
NTT ソルマーレ	1	6
日本メドトロニック(株)	1	12

◇外部集会

- ・子どもゆめ基金助成活動募集説明会 10/20 桑原静枝
- ・北摂杉の子会 法人設立20周年記念講演会 2/6 川崎仁子、木下和江
- ・講演会&ワールドカフェ「地域力! 私たちで築く“北区”の未来」 3/2 池田操、川崎仁子

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

◇主催事業

プログラム名	講師等	集会日	参加者
憲法カフェ	藤井 恭子 (弁護士)	5/27	11
共謀罪勉強会	中村 里香 (弁護士)	6/13	15
7年目のフクシマを感じる	山崎 知行 (医師)	6/24	20
憲法カフェ	中村 里香 (弁護士)	7/11	12
ピースアクション2017	内山 宙 (弁護士)	9/16	34
憲法カフェ	藤井 恭子 (弁護士)	10/21	6
大人の社会科	小澤 裕子	2/9	7
大人の社会科	小澤 裕子	3/16	10

3. 東日本大震災被災者支援

◇プログラム

集会名	日程	被災地からの参加	ボランティア
2017年夏 大阪わいわいステイプログラム	8/5～8/12	9	延べ57
街頭募金 於：大阪駅周辺	3/10	—	6

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット (知的障がいをもつ女性たちのグループ活動)

◇2017年度登録者数 17人

集会名	集会日	参加人数
例会	年間9回	延べ118人
家族の集い	8/6	13人
一泊旅行 行き先：淡路島	9/9～10 (土・日)	15人

(2) 特別支援学校の生徒・保護者への支援事業 (WAM (独立行政法人福祉医療機構) 社会福祉振興助成事業)

◇プログラム

集会名	日程	参加者数
実行委員会	5/12、6/9、7/14、8/16	延28
連絡協議会	6/9	11
啓発講演会「特別な支援を必要とする子ども・若者のホリスティック・ケアとは～就労を軸にライフプランを具現化する～」	6/30	36
打合せ	延6回	延20
ケースカンファレンス (相談)	延49回	延111
ケースカンファレンス (検討会)	延5回	延29
ガールズSST①	7/22	14
ガールズSST②合宿 (於：国際障害交流センター ビッグ・アイ)	8/15-16	19
ガールズSST③	9/2	16
ガールズSST④ (於：e-トコ・プロジェクト)	12/16	10
連続講座「生きづらさを抱える子ども・若者への地域支援者養成講座」	1/19、1/26、2/2、2/9、2/16	延70

◇訪問・来訪

訪問/来訪	日程	参加者数	訪問/来訪	日程	参加者数
WAM内定事務説明会	4/14	58	国際障害交流センター ビッグ・アイ	7/10	4
思斉支援学校	6/2	2	就労移行支援施設アップル	10/18	5
NPO法人NOW	6/23	3	WAM助成金セミナー	1/16	約100
大阪YMCA	7/5	3	WAM事務局 (来訪)	1/17	6

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

◇点字子ども図書室

	回数/年	延人数
点字図書製作	45回	1,620
点字図書貸し出し	48回	146

貸出対象人数	貸出タイトル数	貸出冊数
62	216	419

◇視覚障がい者支援

グループ名		回数	延人数	
リーディンググループ	エコー	7	21	
	ぼれぼれ	6	24	
	わ	9	41	
むらさきつゆくさの会		12	受講生	99
			ボランティア	94

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

◇配食サービス

回数/年	配食数/年	総数/年	調理働き人/年	運転働き人/年
47	2,976	3,787	532	188

◇集会

	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
いこいの集い	6	84	278
デイサービスお茶ボランティア	80	83	1,182
井戸端カフェ茶話茶話	19	94	637
おしゃべりルーム	40	84	397

4. DV被害女性の支援事業

◇ステップハウスを支える会 *会費納入：個人35名 ¥126,000(42口) *寄付：445,240円 *物品提供：16件

◇生活支援実績

		回数/年	延人数	職員
問合せ件数		33件		
入居者数		1名		
延利用日数		34日		
入居面接		1回	7	2
入居オリエンテーション		1回	4	2
退所面接		1回	4	1
退所立会い		1回	4	1
訪問	生活・自立相談	14回	35	1
	カウンセリング	9回	0	0
つきそい支援		3回	6	3
電話相談		21回	42	21
来館・その他		19回	21	17

◇プログラム

プログラム名	集会日・回数	人数
ジェンダー女子会	4/7、5/11、7/7、8/4、9/1、10/6、11/9、2/7	45
くれよん月例会	4/15、5/13、6/10、7/8、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10	45
クリスマス会	12/16	11(元入居者4)

◇外部集会・研修・会議等

プログラム名	集会日・回数	参加者数(内大阪Y)
大阪市DV施策ネットワーク会議	5/1	50(2)
DV被害者支援ネットワーク近畿定例会	5/23、8/29、12/12、2/27	32(4)
いくの学園理事会	5/9、1/28	24(2)

大阪市DV施策関係職員研修会	5/16	約50 (1)
第19回全国シェルターシンポジウム2017 in 東京	9/30～10/1	約1000 (1)
DVサバイバーと協働するための支援者トレーニング	9/2、3	22 (4)
DVサバイバーと協働するための支援者トレーニングフォローアップ	1/13	11 (3)
ネット座談会『逃がす』支援の先へ～サバイバー主導の支援をするために～	11/26	10 (2)
寄り添いホットライン説明会	1/9	11 (2)

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

◇クラス状況

*通学学習課程（春・夏期 9月末在籍者）

クラス	在籍者数
入門日本語	12
集中日本語A	4
集中日本語B	4
日本語A	9
日本語B	13
日本語C	14
日本語D	14
日本語E	14
日本語F	19
日本語G	18
上級ビジネス日本語	12
日本語能力試験N3対策	16
日本語能力試験N2対策	18
日本語能力試験N1対策	16
通訳案内士受験対策	17
パソコン基礎	5
合計	205

*通学学習課程（秋・冬期 3月末在籍者）

クラス	在籍者数
入門日本語	8
集中日本語A	5
集中日本語B	6
日本語A	5
日本語B	11
日本語C	17
日本語D	11
日本語E	15
日本語F	23
日本語G	22
上級ビジネス日本語	9
日本語能力試験N3対策	17
日本語能力試験N2対策	23
日本語能力試験N1対策	18
通訳案内士受験対策	16
パソコン基礎	7
合計	213

*遠隔学習課程

コース名	延べ受講者数
ホームヘルパー受講準備	19

*遠隔学習課程スクーリング

コース名	延べ受講者数
入門日本語文法文型	37
医療	7
自己表現文型作文	9
職業訓練学校（国語）	11
おしゃべり話題	3
近隣交際会話	7
漢字学習	6
日本語能力試験N2	13
読解の基礎	15
消費生活	2
介護	5
合計	115

◇その他

*通訳案内士フィールドワーク 4/30 行き先：「大仙陵古墳/堺市博物館」 延べ参加者：14名

*日本語学力テストN3/N2 9/10 参加：3名

*特別講義 7/23 講師：唄亨 テーマ：通訳案内業務 参加：14名

- *通訳案内士受験対策クラス 12/17 実習 講師：唄亨 行き先：堺市「さかい利品の杜」参加：9名
- *会話実習（集中クラス～上級クラス）全4回 延べ参加者：29名
- *集中クラス 就労面接実習 9/11 参加：7名 3/12 参加：3名
- *集中クラスハローワーク訪問実習 3/5 参加：5名
- *集中クラス家庭訪問実習 3/16 参加：5名
- *日本語実力テスト 3/11 参加：28名

◇地域交流活動・行事

内 容	実施回数	延べ参加人数
朗朗クラブ 和・洋裁・編み物Ⅰ	38	361
朗朗クラブ 和・洋裁・編み物Ⅱ	38	292
朗朗クラブ 日本語	36	573
朗朗クラブ イキイキ体操	37	413
朗朗クラブ 腰痛予防体操	38	293
囲碁・将棋・トランプ	37	286
傾聴会話交流	40	275
社交ダンス	34	614
地域交流バス旅行	1	29
中間学習発表会	1	93
水餃子作り交流	3	33
東淀川区地域交流	1	18
合 計	304	3,280

◇相談事業 相談件数 564件

◇介護支援事業（2017年度新規事業）

- *実施地域 大阪府大阪市/堺市/東大阪市 兵庫県伊丹市/神戸市
- *語りかけボランティア登録人数 63名
- *語りかけボランティア活動状況

派遣人数	派遣回数	語りかけ対象者数	実施延べ数
16名	8回	17名	36名

◇会議・研修会

- *全体講師会&中間講師会 全4回
- *新人講師オリエンテーション 全2回
- *「医療・介護ゼミ」主催：NPO法人ゆるり 12/13 11/2 11/17 10/5 9/7 9/15（山下も）参加：坂東暁子
- *支援・交流センター連絡会議 6/1 主催：厚生労働省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *中国残留邦人等への支援に係る全国担当者会議 6/2 主催：厚生労働省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *近畿ブロック担当者連絡会議 9/29 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：48
- *中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム 9/29 主催：尼崎市 共催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：180名
- *東淀川区居宅介護支援事業者連絡会・医師会合同研修会 主催：堺東淀川区居宅介護支援事業者連絡会 参加：山下つねよ
- *堺市南区高齢者関係者会議 11/27 主催：堺市南区地域包括支援センター 参加：山下つねよ（講師として）
- *堺南第4圏域居宅介護支援事業所交流会 参加：山下つねよ
- *シンポジウム「中国帰国者」について知る・聞く 1/20 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：138名
 - ・基調講演：大谷昭宏（ジャーナリスト）
 - ・コーディネーター：金香百合
 - ・体験報告：青木美沙子（中国帰国者1世）高橋義江（中国帰国者1世）伊藤勝義（中国帰国者2世）
- *中国帰国者支援・交流センター連絡会議 1/26 主催：厚労省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *語りかけボランティア養成研修 1/28 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：31名
- *語りかけボランティア養成研修 2/48 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：13名
- *ボランティア研修会 3/24 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 内容：高齢日本語学習者への理解 参加：28名

◇外部団体プログラム参加・協力

- *京都市小栗栖日本語教室文化交流会 11/26 参加：山下つねよ
- *兵庫県尼崎日本語教室新年交流会 2/10 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *八尾市中国帰国者日本語教室新年交流会 3/4 参加：山下つねよ
- *奈良中国帰国者日本語教室「作文発表会」3/10 参加：山下つねよ

*尼崎日本語教室「学習発表会」3/20 参加：山下つねよ

(2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
ゆっくり日本語A (梅田)	12
ゆっくり日本語B (梅田)	16
ゆっくり日本語C (梅田)	17
ゆっくり日本語D (梅田)	16
趣味のパソコン入門 (梅田)	5
自習パソコン初級 (梅田)	7
日本語A (平野)	10
日本語B (平野)	8
合計	91

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
ゆっくり日本語A (梅田)	13
ゆっくり日本語B (梅田)	14
ゆっくり日本語C (梅田)	19
ゆっくり日本語D (梅田)	16
趣味のパソコン入門 (梅田)	8
自習パソコン初級 (梅田)	6
日本語A (平野)	4
日本語B (平野)	8
合計	88

*講師数 10名 *講師会 年4回実施

*ゆっくりB・Cクラス会話実習 11/18 参加：27名

*ゆっくりBクラス 会話実習 2/3 参加：11名 ゆっくりCクラス 会話実習 2/3 参加：11名

*ゆっくりAクラス 会話実習 2/24 参加：12名 ゆっくりDクラス 会話実習 2/24 参加：13名

*学習発表会 3/17 参加：60名

◇関係職員等研修・啓発学習

*ボランティア研修会「高齢日本語学習者への理解 3/24 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加関係職員等：6名

*医療通訳研修会(全7回) 主催：兵庫県 参加：延べ111名

◇地域交流事業他

プログラム名	実施回数	延べ参加人数
朗朗自習パソコンクラブ	41	172
平野朗朗クラブ	11	30
東淀川朗朗クラブ	2	31
中国囲碁・将棋・トランプ (自主活動)	80	428
合計	134	661

*ゆっくりA/B/CDクラス 特別授業 9/2「歯の健康について」 講師：石井由佳里 参加：18名

*健康相談会 2/15 参加：19名 協力：済生会吹田病院

*餃子づくり交流会 2/3 参加：12名

*ゆっくりBクラス 12/16 健康相談会参加：12名 協力：カイセイ薬局

◇自立支援通訳等派遣事業 自立指導員派遣回数 延べ159回 自立支援通訳派遣回数 延べ2415回

(3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語A	18
日本語B	6
日本語C	9
合計	33

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語A	17
日本語B	7
日本語C	8
合計	32

*講師数 3名 *講師会 4回実施

◇地域交流事業

*朗朗クラブ 20回 延べ参加者数：193名 登録ボランティア：1名

*地域交流バス旅行 9/18 行き先：三重県伊賀市 内容：新米試食&梨収穫体験 参加：42名

*近畿中国帰国者支援・交流センター中間学習発表会参加 7/30 参加：20名

*地域交流バス旅行 3/25 菜花収穫 行き先：三重県伊賀市 参加：40名

(4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	9
日本語B	6
合計	15

*講師数 2名 *講師会 2回
 *開講式 4/5 参加：18名

◇関係機関、地域交流事業等

*朗朗クラブ 10回 延べ参加者：30名

(5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	8
日本語B	6
合計	14

*講師数 2名 *講師会 2回
 *開講式 10/4 参加：18名
 *会館まつり 11/26 参加：8名

◇関係機関、地域交流事業等

*朗朗クラブ 10回 延べ参加者：64名
 *京都府中国帰国者日本語教室運営連絡会 3/12 主催：京都府 参加：山下つねよ、岩井一枝、端野昌彦、森村晃

(6) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	13
日本語初級1B	11
日本語初級II	8
合計	32

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	12
日本語初級1B	8
日本語初級II	7
合計	27

*非常勤講師数 3名 *講師会 年4回実施
 *合同クラス&交流事業ボランティア参加 43回 延べ参加者数：230名
 *脳と体のためのフィットネス 全4回 延べ参加：102名
 *パステル画 11/30 参加：28名
 *ストラップづくり 1/18 参加：31名

◇地域交流事業他

*校外学習 7/13 行き先：インスタントラーメン館 参加38名
 *介護保険セミナー 7/20 講師：伊藤勝義（九十九ケアプランセンター） 参加：19名
 *校外学習 2/14 行き先：京都市 内容：西陣織会館&二条城見学 参加：37名
 *堺市中国帰国者交流会新年会 1/14 参加：山下つねよ
 *学習発表会 3/8 参加：50名
 *校外学習 3/15 内容：神戸YWCA訪問&白鶴酒造見 参加：49名

(7) 和歌山県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

*地域交流バス旅行 3/20 行き先：大阪市立阿倍野防災センター/大阪城 参加：27名（内、和歌山県からの参加者23名）

(8) 兵庫県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

*「医療通訳研修会」を全7回実施した。延べ参加者：462名

	時間	テーマ	内容	講師	参加者数
1/24	10:00~12:00	医療の知識Ⅰ	検査に関する語彙 (画像診断)	李 宏	37名
1/24	13:00~15:00	医療の知識Ⅱ	通訳技術トレーニング①	孫紅雲、呂仁梅、中村俊弘	36名
2/6	10:00~12:00	介護の知識Ⅰ	介護保険の利用について	木下貴雄	28名
2/6	13:00~15:00	介護の知識Ⅱ	介護に関する事例検討	木下貴雄	32名
2/14	10:30~12:30	医療の知識Ⅲ	通訳技術トレーニング②	黒岩千尋、森山美幸 呂仁梅	33名
2/14	13:30~15:30	周辺の知識Ⅰ	葬儀に関する基礎知識	宇屋 貴	33名
2/20	10:00~12:00	周辺の知識Ⅱ	グリーフケア (大切な人を失った人への援助)	坂口幸弘	33名
2/20	13:00~15:00	医療の知識Ⅳ	高齢者の疾患 (糖尿病等)	石井豊	37名
2/27	10:00~12:00	医療の知識Ⅴ	生活習慣病への栄養指導	上田愛子	38名
2/27	13:00~15:00	医療の知識Ⅵ	高齢者の疾患 (認知症等)	石井豊	32名
3/7	10:00~12:00	医療の知識Ⅶ	通訳技術トレーニング③	黒岩千尋、中村俊弘、森山美幸	32名
3/7	13:00~15:00	周辺の知識Ⅲ	ケアする人のケア	金香百合	29名
3/13	10:00~12:00	医療の知識Ⅷ	通訳技術トレーニング④	中村俊弘、森山美幸 呂仁梅	32名
3/13	13:00~15:00	医療の知識Ⅸ	高齢者の疾患 (医療制度等)	石井豊	30名

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

(1) 自然体験プログラム

◇主催事業

プログラム名	場所	集会日	人数
そとあそプログラム「ネイチャーハンター☆」	千里中央公園	5/21	22
夏キャンプ「炎と氷のアドベンチャー」	大阪市立信太山青少年野外活動センター	8/19~20	18
クリスマス会 (仮面でおどろの巻)	シャロン千里	12/17	16
春キャンプ「森のラーメン屋」	吹田市自然体験交流センター	3/24~25	25

◇リーダートレーニング

プログラム名	場所	集会日	人数
リーダートレーニング「子どもとのコミュニケーション」	大阪YWCA本館	6/24、7/11	18
リーダートレーニング「野外炊事実践」	吹田市自然体験交流センター	3/4	6

(2) 小中学生のための異文化理解プログラム

◇主催事業

プログラム名	場所	集会日	人数
ハロハロワールドスクール とびだせ!ハロハロ調査隊! in 大阪城公園	大阪城公園	6/25	17
ハロハロワールドスクール Where is she from ?	シャロン千里	11/12	13

◇リーダー会・ワーク

事業名	回数	人数
ミーティング・ワーク	20	127
下見	2	9

(3) 子どもミニスクール

集会名	日程	参加者数
冬の子どもミニスクール	12/27	33

2. 子ども図書室事業

◇主催講座

行事名	集会日	延人数
春のおはなし会	5/19	24
ライブラリースクール	9/29	27
夏休み子どもおはなし会	7/21	48
大人のためのクリスマスおはなし会	12/8	24
大人のためのミニおはなし会	2/27	24

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
ちゅうりっぷくらぶ	21	62	469

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数
おはなしの部屋	10	176
ワークショップ	9	125
第一の会	8	125
第五の会	1	14

3. 子育て支援事業

(1) 千里

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
おやこひろば	40	89	741
おやこひろばオープンデー	1	—	13
ママズカフェ	11	—	127

◇主催講座

講座名	集会日	場所	人数
真夏の夜のおはなし会	7/26	大阪YWCAシャロン千里	68
おやこで楽しむピアノ・バイオリンコンサート	9/22	大阪YWCAシャロン千里	53

4. 外国人学生へのホームステイプログラム

◇ホストファミリー登録数 18家庭

◇ニューズレター発行 2018年3月

*専門学校日本語夏期集中コース(7/20~8/8)の学生2名(出身:台湾、ベトナム)を2家庭で受入

*同コースのオプションプログラム(お好み焼きパーティー)と修了式(浴衣体験もあり)に協力

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

◇行事

行事名	回数	延人数
クリスマス会	1	22
ミニバザー	2	18
絵手紙入門講座	1	3
水餃子作り	3	38
水餃子を作って食べる講座	1	12

◇傾聴ボランティア活動

活動名	回数/年	延人数	
傾聴カフェラベンダー	19	来店者	110
		ボランティア	167
傾聴カフェラベンダー研修会	1	9	
訪問傾聴	18	利用者	18
		ボランティア	36

◇グループ活動

グループ名	回数	延人数	グループ名	回数	延人数
みのり会	10	75	スウスの会	10	76
英会話サロン	33	165	いのちを語る会	4	20
聖書を学ぶ会	11	125	絵手紙の会	10	32
あみあみカフェ	1	4			

2. 千里

◇行事

行事名	集会日	延人数
歌声サロン(第36, 37, 38回)	5/13, 9/30, 2/24	165
世界YWCA日「千里でお茶を」 ～CSW参加の報告、フィンランド研修報告～	5/16	32
千里合唱団35周年記念コンサート	7/9	540
昼下がりのチャリティーコンサート バックウッズ・マウンティニアーズ	11/18	100
千里合唱団 Joyful Christmas	12/15	124
千里クリスマス会	12/19	52
「千里でお茶を」～大阪YWCAが生み出した被害者支援活動～	2/7	28
沼野尚美講演会「人の心に聴くとは」	2/17	56
東北に思いをはせる集い	3/19	70
会員・ボランティア研修「明日への活力を養って仲間を増やそう」	3/23	19

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数	グループ名	回数/年	延人数
会館ボランティア	12	53	使用済み切手整理	8	67
聖書を読む会	10	129	清拭布ボランティア	9	59
合唱団	47	1,451	ブリジッツ	17	95
ハンドベルクワイア	45	557	文月会	12	121
コールセンリ	12	264	アトリエ「創」	17	124
サロン四季	14	64	生花グループ	8	54

◇趣味のグループ

グループ名	回数/年	延人数
生花を楽しむ会	12	156
水彩画	11	66

3. ボランティアの受入れ

◇ボランティア説明

説明会 (延人数)			個別説明会	
回数	ボランティア希望	職員	回数	参加者
9	42	17	26	37
登録者数	36			

4. バザー

(1) クリスマスバザー実行委員会

- *開催日 2017/12/2 (土) 10:30~15:00 *来場者 約830名 (うち、ボランティア・職員約150名)
- *内容 企業・団体様、個人の方からの寄贈品、リサイクル衣類、外部からの出店、着物リフォーム作品などの手芸品、手作りお菓子、食堂、喫茶、福引、イベント (似顔絵、街頭紙芝居)
- *外部出店 15店 *達成額 2,334,251円 (予算230万円)
- *収益の中から、下記のとおり外部の社会貢献活動団体へ寄附をした
- | | | | |
|------------------|---------|-----------------|---------|
| 釜ヶ崎キリスト教協友会 | 5,000円 | そよかぜの家 | 10,000円 |
| 関西いのちの電話 | 5,000円 | NPO法人いくの学園 | 10,000円 |
| パレスチナ子どものキャンペーン | 5,000円 | チェルノブイリ子ども基金 | 5,000円 |
| 東日本被災支援 (東北ヘルプへ) | 10,000円 | 在日韓国基督教教会館(KCC) | 5,000円 |
- 以上、合計55,000円

(2) 千里バザー実行委員会

①千里バザー

- *開催日 2017/6/3 (土) 10:00~14:30 *来場者 約500名 (内、ボランティア・職員約100名)
- *内容 企業・団体・個人からの寄贈品、リサイクル衣料、外部からの出店、手芸品、手作りお菓子、食堂、喫茶
- *出店数 5店 *達成額 1,509,760円 (予算150万円)

②千里ガレージセール

- *開催日 2017/10/28 (土) 10:00~13:30 *来場者 約541名 (内、ボランティア・職員約100名)
- *内容 個人からの寄贈品、リサイクル衣料、外部からの出店、手芸品、手作りお菓子、喫茶
- *出店数 10店 *達成額 934,491円 (予算93万円)
- *収益の中から、下記の通り外部団体や社会貢献活動へ寄付をした
- | | | | |
|------------|--------|---------------|---------|
| JOCS | 5,000円 | ライトハウス | 5,000円 |
| 釜ヶ崎いこいの家 | 5,000円 | そよかぜの家 | 10,000円 |
| シャロン千里子ども館 | 5,000円 | 毛糸の帽子を編んでみよう会 | 10,000円 |
- 以上、合計40,000円

5. 100周年記念実行委員会

(1) 旅行省委員会

集会名	日程	出席者延数
7年目の『フクシマ』を感じる旅	10/1~3	16

(2) ガールズ・パワーアップ・プロジェクト

集会名	日程	出席者延人数
ビッグシスターズのためのファシリテーター養成講座Ⅰ	5/13	15
ガールズ&ビッグシスターズのためのリーダーシップ養成講座Ⅱ	8/3-4	23
ビッグシスターズのためのファシリテーター養成講座Ⅲ	1/27	16
ガールズ&ビッグシスターズのためのリーダーシップ養成講座Ⅲ	3/24, 25	13

VI. 広報

1. 機関紙

(1) 発行の概要

- ◇回数 7回 (3/4月、5月、7月、9月、11月、12/1月、2月特別号)
- ◇部数 各2,000部、特別号3,000部
- ◇配布先 会員・会友、専門学校生、クラス生、講師、賛助会員、賛助会社、各市YWCA、関係団体、講座・集会参加者、大阪市内各女性センター、ワン・ワールド・フェスティバル参加者、他
- ◇サイズ 通常号A4版4ページ、特別号A3版表裏
- ◇広告協力会社 有限会社イースター式典社、株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所、株式会社オフィスインテリア、大阪中央法律事務所、学校法人大阪女学院、ダイワ食堂、株式会社藤木工務店、山西福祉記念会館

発行月	特集内容		
	1面	2.3面	4面
5月号	だれの子どものころさせない この想いでつなごう (西郷南海子/安保関連法案に反対するママの会・発起人)	CSW報告/ガールズパワーアッププロジェクト外3月講座報告	定期会員集会報告/新役員紹介
7月号	エンタメで憲法を語る意味~相手に合わせた伝え方を~ (内山宙/弁護士)	共謀罪って本当はなんだ?/加盟YWCA中央委員会報告	ガールズパワーアッププロジェクト5月講座報告
9月号	南スーダン現地報告 (西谷文和/フリージャーナリスト)	東日本大震災被災者支援/3市Y合同合宿報告	千里合唱団35周年/100周年記念募金
11月号	少女たちよ大志を抱いて、前へ! (金香百合/ガールズパワーアッププロジェクト長)	ガールズパワーアッププロジェクト特集/ピースアクション2017報告	100周年記念旅行フクシマ旅行報告
12.1月号	大阪YWCAが生み出したNPO法人 犯罪被害者支援との歩み (堀河昌子/NPO法人顧問)	クリスマスメッセージ/全国ユースギャザリング報告	スープサービス/ガールズエンパワメントフォーラム報告/税額控除案内
特別号	あなたの夢はなんですか (大崎麻子/国際開発・ジェンダー専門家)	100周年お祝いメッセージ ガールズパワーアッププロジェクト 国際フォーラム案内	
3.4月号	核兵器なき世界を実現するために (林田光弘/ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー)	イースターメッセージ/帰国者シンポジウム報告	100周年記念実行委員会よりメッセージ

会員・会友・賛助員・寄付・募金等

1. 会員・会友

◇2018年3月末会員数 302人

◇2018年3月末会友数 8人

2. 賛助費

◇法人 5社

大阪商工会議所、(株)サンカラー SHIPPING、積水化学工業(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、ワツコ(株)

◇個人 115名

曾澤美代子、青木知子、秋山陽彦、新居恵理、有井由紀子、有田悦子、井口和子、池田毅、池田洋子、伊藤景子、伊藤美都子、井上道子、岩村友恵、上田賢博、内田のり子、宇都宮ゆかり、江尻美穂子、越後靖子、岡田幸乃、大空美矢子、大森浩平、大菅照代、大野弘美、落合保子、片山純子、神屋敷絹恵、川上光子、加輪上敏彦、河野陽子、岸田善三郎、貴志慶子、北島正子、北尾敦子、木下暁子、國里順子、栗本丹志貴、黒田朋子、小池りつ子、小島志佐子、小林千重子、小林直子、小林明、木幡敦子、西条哲、笹部真樹、佐藤朋子、澤井良子、沢田陽子、品田陽子、少徳充子、ジャクティアニー富士子、清水俊弘、鈴木豊子、関根久子、高木裕子、高田良子、田中義信、田中佐和子、田中榮子、田中英子、谷川毅、滝根圭子、竹本良子、田邊昌代、檀上忠子、辻朋宏、都木直文、寺中裕子、徳平真弓、豊島博子、中川佐知子、中島重徳、中島淑子、永谷恵子、中東洋子、中山ゆかり、西村美恵子、西名貞子、花岡千代美、波田則子、波多野康子、端野昌彦、久田昌子、平櫛圭甫、平佐たか子、藤井保男、藤原智子、藤原裕美子、船越あゆみ、榊居孝、松江訓子、松永茅光、松下宜代、松島紀代子、松田慶子、松田真理子、松田美代子、松本サナエ、松本弘道、水尚子、溝邊瑞穂、宮澤玲子、南憲明、宗像千代子、森口清子、八木みゆき、安原みゆき、安川実千代、山田章博、山東史子、山本昌子、山崎久美子、吉田耕平、吉田佳代子、匿名1名

3. 寄付

◇個人 (大阪YWCA会員を含む)

赤松久子、有山龍作、池本勝俊、井本米子、植木麻智子、大岡眞知子、大杉美耶子、太田三紀子、大西美紀・美代子、小澤裕子、片山淳子、金子蘭、加山従子、川口敦子・和子、川辺宣子、神先泰美、岸田晃子、木嶋周子、木下暁子、金香百合、木村和子、木村淑子、清塚典子、栗本丹志貴、小林千恵子、小林よう子、斎藤佳子、阪中雅博、坂本富子、雀部真理、鹿野幸枝、白井邦子、白川啓子、信川節代、末吉佳世子、菅由季子、蔣建業、高橋浩二、田尻美知、谷恵美子、辻加代、辻朋宏、辻中正子、中島理依子、中津陽子、二階堂美智子、西坂恵美、西村由紀子、野上由紀子、許山秀樹、橋本智香子、橋本暢子、深堀潤子、藤田陽子、古山幸子、堀江スミ子、堀河昌子、前川純一、増田正子、宮内民郎、三宅克英、村井毅、村上和子、村松通子、森垣房子、森関子、山階武、山本孝志、横内いづみ、吉田くすほみ、吉田正、

六人部逸子、匿名1名

◇団体

アトリエ創、生け花を楽しむ会、いこいの集い参加者一同、歌声サロン参加者一同、梅田会員部委員会一同、NCC-URM委員会、大阪バプテスト教会、大阪YWCA大宮保育園、大阪YWCAガレッジセール実行委員会、大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会、大阪YWCAクリスマスミニセール実行委員会、大阪YWCA千里合唱団、大阪YWCA千里合唱団 Joyfulコンサート参加者一同、大阪YWCA千里バザー実行委員会、大阪YWCA千里ハンドベルクワイア、おやこひろば参加者一同、会員・ボランティア研修参加者一同、街頭募金参加者一同、勝美恵さんを偲ぶ会一同、カフェ茶話茶話利用者一同、グループパレット有志、公益財団法人日本YWCA、コールセンリ、コスモ建物管理㈱、子ども図書室、財団法人大阪ボーイスカウト振興協会、サロン四季、シックスポイント、奨学金委員会一同、水彩画を楽しむ会一同、清拭布ボランティア一同、聖書を読む会一同、千里委員会一同、千里クリスマス会参加者一同、千里クリスマス会席上献金、千里でお茶を参加者一同、東北に思いをはせる集い参加者、豊中千里ロータリークラブ、中山文甫会館、日本基督教団扇町教会、日本基督教団大阪城北教会、日本基督教団北千里教会、日本基督教団希望ヶ丘教会、日本基督教団甲東教会 エリコの会、日本基督教団豊中教会、日本基督教団浪花教会婦人会、日本基督教団東梅田教会、日本基督教団南住吉教会、日本基督教団都島教会、配食サービス一同、BACKWOODS MOUNTAINEERS、BACKWOODS MOUNTAINEERS コンサート参加者、被災者支援チーム一同、文月会、ブリッジズ、ボランティア委員会委員一同、ママズカフェ一同、ろくてんくらぶ、ワツコ㈱

4. 募金（創立100周年記念募金）

◇募金者一覧

青木知子、秋田洋子、秋山陽彦・佳子、秋山和美、秋山仁美、秋山也寸子、朝岡千晶、朝川晃子、芦川常恵、株式会社アDOWN 代表取締役 岡本功、阿部晴水、荒木慧子、有井由紀子、有田悦子、栗津重光、家本陽一、猪頭幸子、井川幹子、池田操、池田洋子、池田米、石川良子、磯村美保子、伊藤京子、伊藤美智子、井上由貴子、Jasmine Ibanez、創立100周年イベント小委員会、今井忍、今井弘子、今城啓子、今本桂子、井本米子、入江園子、岩佐繁子、岩村明子、上田真而子、上野康子、内坂建、内田幸玉、運営委員会有志、江尻美穂子、越後靖子、遠藤恵美子、遠藤佳代、大岡眞知子、大阪ボーイスカウト振興協会、大杉美耶子、大塚弘子、大野綾子、大原千恵子、大森浩平、岡田勝美、岡由紀子、小川美貴子、落合保子、小千田房世、小野知子、株式会社オフィスインテリア 代表取締役 木嶋宏、梶原孝一、梶原汎子、片本広美、片山日世子、片山隼亮、片山淳子、医療法人社団片山整形外科、片山英樹、片山裕貴、学校法人エール学園、勝吉彦、葛良清子、加藤鈴子、金山弥寿雄、金子政子、神屋敷絹恵、亀田速穂、川勝宏子、川上悦子、加輪上敏彦、川上博幸、川崎明恵、川崎一代、川崎仁子、川辺宣子、関西テレビ青少年事業団、貴志慶子、岸田晃子、岸田善三郎、貴島照代、木田光子、木下和江、清塚典子、社会福祉法人キリスト教ミード社会館、口羽恵子、口羽勉、久保京子、兄部敏子、河野恭子、木幡敦子、木幡弘子、小林千重子、小松晴子、米虫圭子、近藤国子、西条哲、佐伯玲子、坂上信子、阪口恵美子、阪口忠男、阪中雅博・千草、阪本昭子、坂本富子、櫻井愛子、櫻井敏子、笹部昌子、雀部真理、札幌YWCA、佐藤重雄、佐藤朋子、澤田直子、鹿野憲一、鹿野幸枝、宍戸百子、柴田美佐子、清水千鶴子、シャロン千里、少徳充子、職員一同、白井邦子、白川啓子、信川節代、末吉佳世子、鈴木淳一、鈴木豊子、関根久子、大阪YWCA千里合唱団、捜真女学校YWCA、創立100周年記念旅行小委員会、曾布川和子、(株)大通ネットワークス、高尾靖江、高木裕子、高野芙美子、高橋万里、高山富城子、瀧本政子、田口美智、竹岡哲朗、武田薬品工業㈱、竹村浩子、立花昭子、田中榮子、田中淳子、田中義信、谷恵美子、谷佐代子、チャリティーコンサート参加者一同、辻川文子、辻川保雄、辻朋宏・加代、辻野勝代、定期会員集会参加者一同、手島千景、寺坂阿佐子、寺中裕子、都木恵子、徳広彩、所佳子、仲上幸子、長塩滋子、中島淑子、中務裕之、中納幸子、中野順子、中村真理子、中村幸枝、中山光世、中山ゆかり、中山羊奈、波田則子、成田芳子、二階堂美智子、二河照子、西口操、西田真智子、西本照子、二宮元、日本基督教団大阪東十三教会、稔野寿子、延倍福、橋本智香子、端野昌彦、林田綾子、原紀子、久田昌子、日ノ本学園高校、平井ケイ、平櫛圭甫、平櫛紀子、平塚YWCA、平野千代子、平野信江、広瀬圭子、深堀潤子、深見和子、福山恵美子、藤井麻理、藤井保男、藤岡美智子、藤本妙子、藤山朱美、藤原智子、古河順子、古山幸子、帆足文子、星山斐子、堀河昌子、堀河康親、本田芳子、前川純一、前島宗甫、梶居孝、松井制子、松下郁子、松下起子、松田慶子、松田美子、松本えみ子、松本純子、松本弘道、丸岡裕子、道井恵美子、南憲明、実生律子、三原育子、日本基督教団都島教会、宮澤玲子、三好照子、向井恭子、宗像千代子、村井毅、村井敏邦、村上祐子、村田三津子、村松通子、馬上貴美子、木曜夜まわりの会、森垣友二郎、森川加也、森闕子、森家さち子、八坂純子、安田乙世、山口のぶえ、山下つねよ、山地由紀、山田章博、山高万寿子、山田智子、山田登、山田容子、山中裕子、山東史子、山本宣子、山本町子、横内いづみ、吉田亜希、吉田暁美、吉田くすほみ、吉田瀧子、吉田正、吉本沙矢香、米岡治美、リーディンググループぼれぼれ、渡辺知子、ワツコ株式会社、匿名

5. バザー協力企業・団体

味の素株式会社、株式会社アドワン、アマゾンジャパン、伊那食品工業株式会社、乾卯栄養化学株式会社、永和信用金庫、エービーシー開発株式会社、扇町同胞幼稚園、大阪教区教会婦人会連合、大塚製薬株式会社、大阪YWCA大宮保育園、株式会社オニザキコーポレーション、株式会社オフィスインテリア、株式会社オリエンタルベーカーリー、神川工務店、関西テレビ株式会社、関西よつ葉連絡会、北野整骨院、希望ヶ丘教会、株式会社共立メンテナンス、クオーレ、クールアンシヤンテ、国際ソロプチミスト大阪、コスモ建物管理株式会社、さちこ歯科、シェラトン都ホテル大阪、株式会社シーズン、株式会社ジュノインターナショナル、STUDIO A-Sh、草楽園、大寅蒲鉾株、株式会社大丸松阪屋百貨店、ダイワ食堂、大和ハウス工業株式会社、大和証券株式会社、つばくろ診療所、帝国ホテル大阪、デュプロ株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社野木、ハウスウェルネスフーズ、伯方塩業株式会社、阪急阪神百貨店、BCホールディングス株式会社、株式会社藤木工務店、プティック QUEQUE、株式会社プランニングキュービック、株式会社松田商事、丸一食品、マロニー株式会社、山久食品株式会社、ヤマトフーズ、山西福祉記念会館、株式会社ユニマットライフ、揚子江ラーメン、株式会社R-Japan、リーガロイヤルホテル、ワツコ株式会社

6. 補助金・助成金(順不同)

助成団体	金額(円)	受入れ先
独立行政法人福祉医療機構	1,791,000	特別支援学校の生徒・保護者への支援事業
公益財団法人和証券福祉財団	300,000	グループパレット
公益財団法人倶進会	500,000	東日本大震災被災者支援事業
独立行政法人国立青少年教育振興機構	168,000	子どもと子どもの本の講座/こども部春キャンプ
公益財団法人大同生命厚生事業団	100,000	こども部ハロハロワールドスクール
社会福祉法人大阪府共同募金会	200,000	ステップハウス委員会
吹田市社会福祉協議会	45,000	点字子ども図書室
公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団	200,000	点字子ども図書室
公益財団法人日本YWCA	200,000	ガールズ・パワーアップ・プロジェクト
夕陽丘基金運営委員会	100,000	ステップハウス委員会

会議等

1. 評議員会

◇評議員 任期 2015年6月13日～2019年6月12日

秋山佳子、朝川晃子、太田麗子、片山淳子、川崎知子、辻川さとみ、所佳子、西村由紀子、平井佐津紀、広瀬圭子、深堀潤子、堀河昌子、村松通子、横内いづみ、渡邊成子

◇評議員会の開催

回	開催日	議案
1	2017年6月10日	第1号議案 2016年度事業報告 第2号議案 2016年度決算報告及び監査報告 第3号議案 理事・監事改選について 第4号議案 評議員退任と追加選任について 第5号議案 2017年度4月～5月事業報告 諸報告
2	2018年3月3日	第1号議案 2018年度事業計画案 第2号議案 2018年度予算、2018年度資金計画及び設備投資の見込みについて 諸報告

2. 理事会

◇理事・監事 任期 2017年6月10日～2019年6月9日

代表理事：鹿野幸枝 理事：小澤裕子、雀部真理、谷川いづみ、辻加代、津戸眞弓
常務理事：中山羊奈 業務執行理事：中村友美、山下つねよ

監事：坂上信子、三木秀夫

◇理事会の開催

回	開催日	議 案
1	2017年5月25日	第1号議案 2016年度事業報告 第2号議案 2016年度決算報告 第3号議案 2017年度4～5月事業報告 第4号議案 2017年度第1回評議員会の開催について 第5号議案 100周年記念募金について 第6号議案 夏季賞与について
2	2017年6月19日	第1号議案 第4期代表理事、常務理事及び業務執行理事の選任 第2号議案 第4期の運営体制について 諸報告
3	2017年6月29日	第1号議案 定期提出書類について（書面審議）
4	2017年9月1日	第1号議案 事業報告 第2号議案 専任講師、準専任講師の採用等について 諸報告
5	2017年11月2日	第1号議案 上半期決算及び下半期見通しによる決算見通しについて 第2号議案 山西福祉記念会館との「会館使用に関する覚書」について 第3号議案 専任講師、準専任講師の採用等について 第4号議案 事業報告 諸報告
6	2018年2月8日	第1号議案 2018年度事業計画について 第2号議案 2018年度予算、資金計画及び設備投資の見込みについて 第3号議案 山西福祉記念会館との「会館使用に関する覚書」について 第4号議案 専任講師の採用等について 第5号議案 2016年度第2回評議員会の開催について 諸報告

3. 職員・専任講師

◇職員

総幹事 中山羊奈
幹事 川崎（三國谷）仁子、木下和江、中村友美、坂東暁子、山下つねよ、吉本沙矢香
幹事補 池田操、牛江真由子、川野啓、桑原静枝、原田千尋、藤田実余子
非常勤 五十嵐裕、岩井一枝、小野美也子、金子蘭、黒須史江、小村龍男、田中直美、坂東摩波、藤原裕美子、堀奈央美、松下宜代、真野真琴、山本いち子

◇職員会 21回

◇専任講師 専任講師：氏原庸子、清島千春、佐伯玲子

◇専任講師会 6回

4. 設置委員会等

ボランティア・社会貢献活動運営委員会、平和・環境部委員会、ステップハウス委員会、こども部委員会、グループパレット委員会、ホームステイプロジェクト、梅田会員部委員会、千里委員会、会員委員会、千里子育て支援委員会、千里ボランティア委員会、大阪版編集委員会、広報部委員会、奨学金委員会、ボランティア担当、クリスマスバザー実行委員会、100周年記念実行委員会、年史小委員会、イベント小委員会、旅行小委員会、ガールズ・パワーアップ・プロジェクト、東日本大震災被災者支援担当、人事委員会、財務委員会、指名委員会

施設維持・不動産管理

◇会館整備

- | | |
|---------------|------------------------|
| *館内非常放送設備 | *会員ルーム 埋込み蛍光灯ランプユニット交換 |
| *看板ロゴ塗り替え | *2階 南側教室非常灯修理工事 |
| *電飾看板製作 取付工事 | *2階 講師室書庫床補修 |
| *突き出し看板LED交換 | *2階 WiFi 工事 |
| *道路ガラス掲示板 取替え | *208・209 教室 冷暖房機取替え |

収益事業

社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会の経営する大宮保育園に対して、本財団の大宮町の土地・建物を貸与。また、同じく同福祉会の事務業務の一部を受託した。

世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA関係

内 容	日 程	参加者数	内、大阪YWCA
3市Y合同合宿 (地域Yを主体としたプログラム助成事業)	7/15～16	41	6
3市Y合同合宿ミーティング	9/30、2/17	19	3
ユースギャザリング (地域Yを主体としたプログラム助成事業)	10/7～8	18	3
YM/YW合同祈祷週集会	11/16	73	10
加盟YWCA会長会	5/26	30	1
加盟YWCA中央委員会	5/27～28	74	7
日本YWCA新職員研修	5/20～22	26	6
日本YWCA職員研修ステップⅡ	1/24～26	10	1
総幹事会	5/29、1/21	23	2
理事会・役員会・総幹事会合同会議	1/22	20	3
全国幹事会分科会	11/9～10	21	3
代表幹事会	4/20、7/7、11/10、1/12	27	4

- *日本YWCA理事、財政・会館事業部会、建物管理部会：鹿野幸枝
- *日本YWCA理事、人事委員会：谷川いづみ
- *日本YWCA運営委員：雀部真理、松原恵美子
- *代表幹事：中村友美

外部関係団体

一般財団法人大阪市青少年活動協会、一般財団法人大阪府青少年活動財団、青少年育成大阪府民会議、大阪府キャンプ協会、公益財団法人大阪ユースホステル協会、公益財団法人大阪ボーイスカウト振興協会、社会を明るくする運動実行委員会、特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会、公益財団法人大阪国際交流センター、公益財団法人大阪府国際交流財団、大阪地域留学生等交流推進協議会、大阪府男女共同参画推進連絡会議、大阪市女性会議、大阪市企業人権推進協議会、社会福祉法人関西ののちの電話、大阪商工会議所、特定非営利活動法人いくの学園、大阪市DV施策ネットワーク会議、大阪府DV施策ネットワーク会議、DV被害者支援ネットワーク近畿、NPO法人全国女性シェルターネット、国際女性年大阪連絡会、特定非営利活動法人関西NGO協議会、日本基督教団大阪教区核問題特別委員会、大阪キリスト教連合会、大阪キリスト教婦人連合会、NCC都市農村宣教委員会、全国専門学校各種学校日語教育協会、全国専門学校各種学校連合会、大阪府専修学校各種学校連合会、一般財団法人中山文甫会館、国連ウィメン日本協会大阪、憲法9条の会・関西、九条の会・おおさか、ヒバクシャ国際署名推進・大阪連絡会、学校法人大阪女学院、認定NPO法人大阪被害者支援アドボカシーセンター、社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会